



## 第2次宇都宮市スポーツ推進計画



令和7年3月  
宇都宮市

第1章	計画の策定 にあたって		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. <u>計画策定の目的</u> . . . . . 2</li> <li>2. <u>計画の位置づけ</u> . . . . . 3</li> <li>3. <u>計画期間</u> . . . . . 4</li> <li>4. <u>スポーツが果たす役割</u> . . . . . 5</li> </ul>
第2章	スポーツを取り巻く 現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. <u>社会環境の変化</u> . . . . . 7</li> <li>2. <u>国・県等の動向</u> . . . . . 9</li> <li>3. <u>本市の現状</u> . . . . . 10</li> <li>4. <u>現行計画評価</u> . . . . . 32</li> <li>5. <u>本市の課題</u> . . . . . 42</li> </ul>
第3章	スポーツ推進の 基本的な考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. <u>基本理念</u> . . . . . 45</li> <li>2. <u>施策の柱</u> . . . . . 50</li> </ul>
第4章	スポーツ推進のための 施策・事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. <u>施策体系</u> . . . . . 55</li> <li>2. <u>基本施策</u> . . . . . 56</li> </ul>
第5章	計画の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. <u>計画の推進体制</u> . . . . . 66</li> <li>2. <u>計画の実現に向けて</u> . . . . . 67</li> </ul>

# 第1章 計画の策定にあたって



1. 計画策定の目的
2. 計画の位置づけ
3. 計画期間
4. スポーツが果たす役割

## 目的

- 本市では平成27年3月に策定した宇都宮市スポーツ推進計画（計画期間：平成27年度～令和6年度，以下「現行計画」）に基づき，スポーツに関連する施策を推進しています。
- このような中，少子高齢化などにより，人々のライフスタイルが変化してきているとともに，健康寿命の延伸や地域の活性化など，スポーツに求められる役割も大きくなってきたことから，市民一人ひとりが，スポーツに親しみながら，スポーツの意義を再認識することが重要となってきました。
- 今後のスポーツ振興の施策や取組を総合的かつ計画的に実施するため，スポーツ行政を取り巻く環境の変化等を踏まえ，現状分析や課題の整理を行い，第2次宇都宮市スポーツ推進計画（以下「本計画」）を策定します。

- 本計画は、スポーツ基本法第10条に基づき、スポーツを総合的かつ計画的に推進するため、国及び県の計画と整合を図りながら策定する計画です。



- 令和7年度を始期とした10年間の計画とし、必要に応じて、中間見直し等を行います。

R 6

R 7

R 8

R 9

R 10

R 11

R 12

R 13

R 14

R 15

R 16

第3期スポーツ基本計画

栃木県スポーツ  
推進計画2025

第6次宇都宮市総合計画

スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン

第2次宇都宮市スポーツ推進計画

## スポーツの定義

- スポーツは、日々の楽しみや生きがい、心身の健康増進のほか、目標を達成する成功体験、活動を通して生まれるふれあいや仲間意識など、様々な形で人々に恩恵をもたらすものです。本計画では、スポーツ基本法に基づいた現行計画のスポーツの定義を以下のとおり引き継ぎます。

一般的な競技スポーツやアーバンスポーツ、ダンスなどに加え、ウォーキングや散歩、ラジオ体操などの比較的軽い運動や、キャンプなどの野外スポーツ、さらに買い物や通勤などについて、健康や体力づくりを目的に、移動手段を車から徒歩や自転車に変更して行うなど、目的意識を持った身体活動を含むものである。

## スポーツの価値

- 国の第3期スポーツ基本計画では、これまでの「スポーツそのものが有する価値」と「スポーツが社会活性化等に寄与する価値（スポーツを通じて他の分野に貢献）」があるとし、それぞれの価値を更に高めていく必要性があると謳われています。本市においても、スポーツには、スポーツそのものが持つ力を原資として、他の分野にも貢献し、優れた効果を波及したり、様々な社会課題を解決するなど、社会活性化等に寄与していく役割があると捉えています。

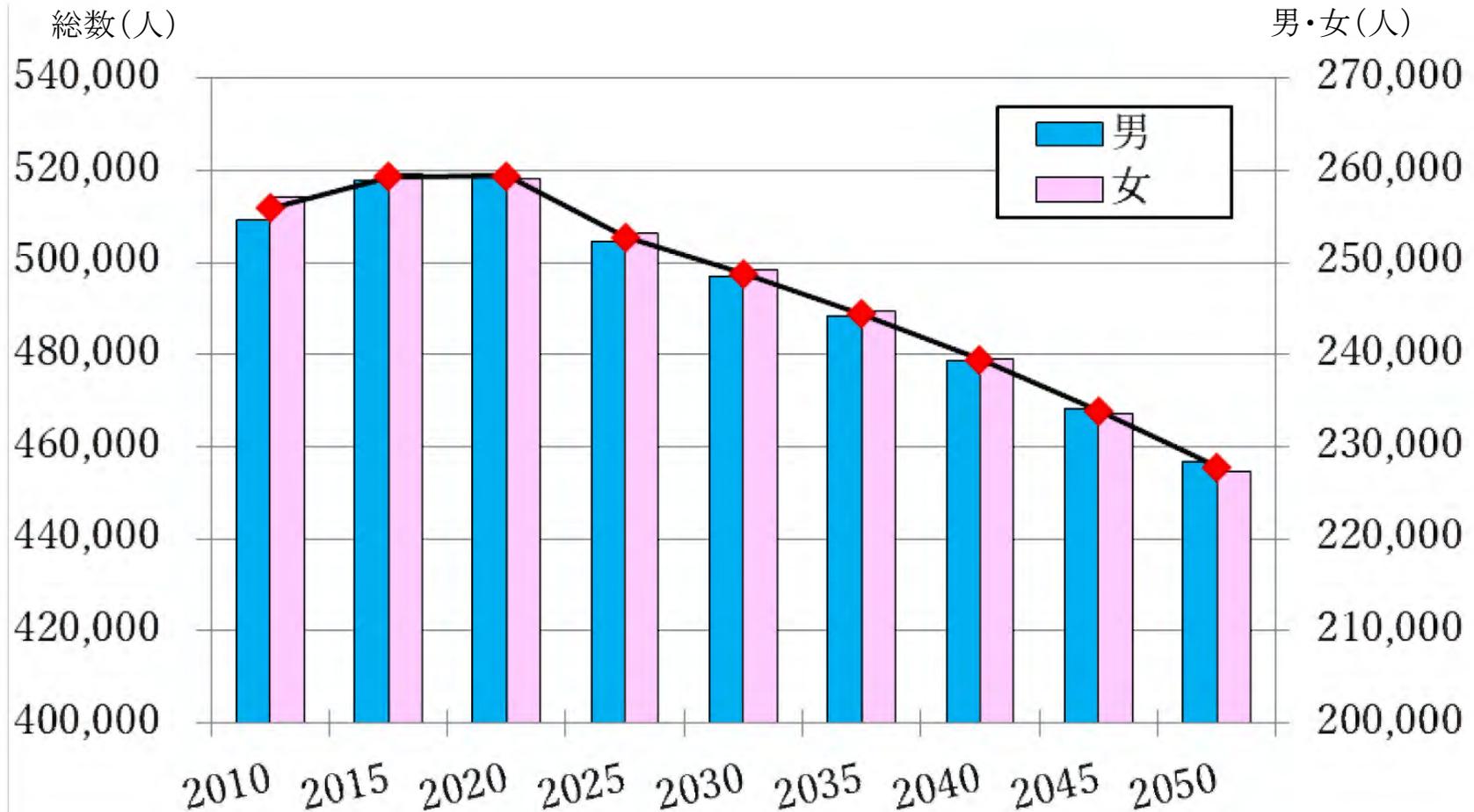
## 第2章 スポーツを取り巻く現状と課題



- 1.社会環境の変化
- 2.国・県等の動向
- 3.本市の現状
- 4.現行計画評価
- 5.本市の課題

## 人口減少

- 国の総人口は減少傾向にあり、本市においても2050年には、現在の約52万人から約42万人まで減少すると推計されており、今後更なる少子高齢化の進行が予想されています。



【出典】国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）』

## ライフスタイルの変化

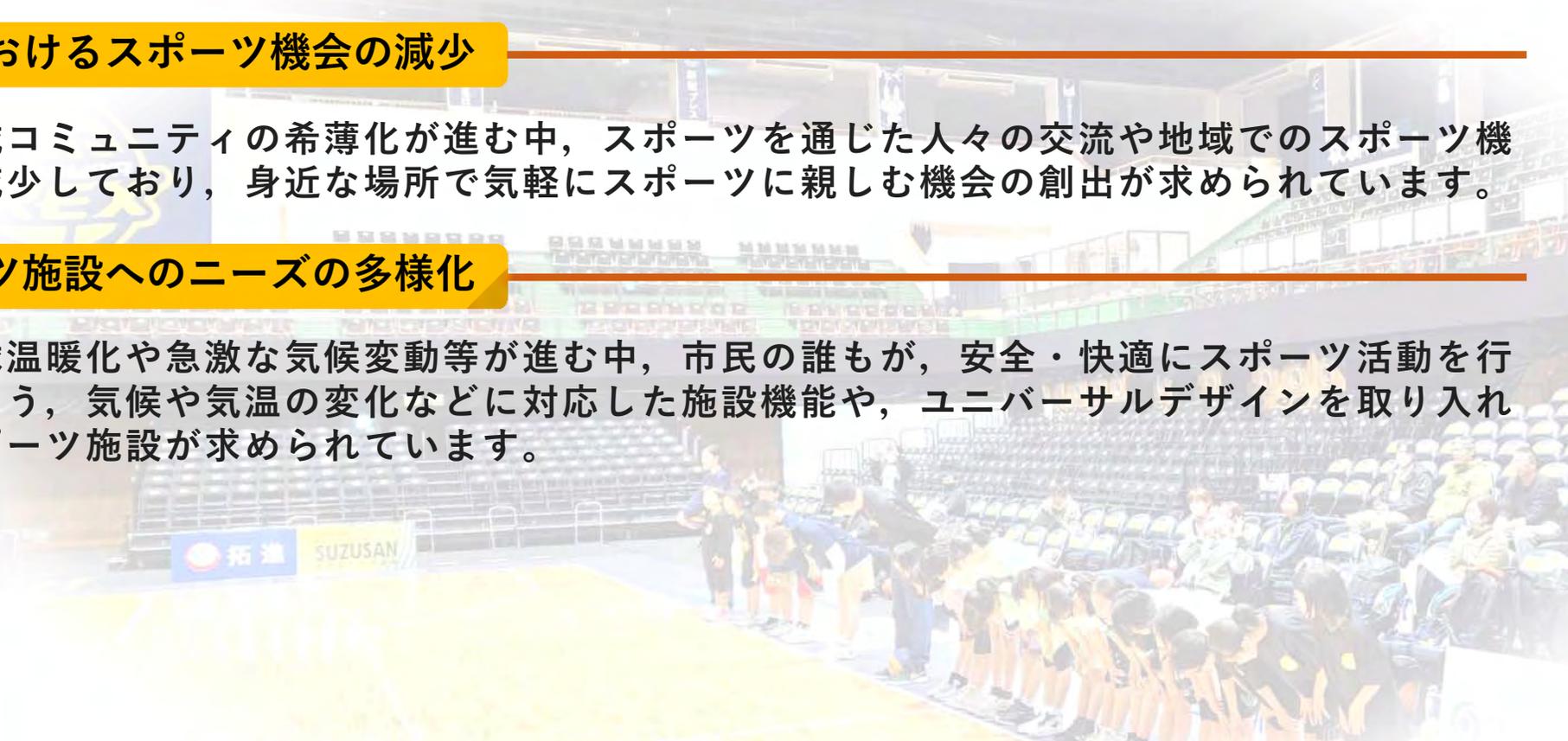
- テレワークの普及を始めとする働き方改革の進展などに伴い、人々の「生活様式」や「働き方」等のライフスタイルが大きく変化してきている中、市民一人ひとりが、体力向上や仲間づくりなどのスポーツの意義を再認識し、生活の一部においてスポーツに親しむ時間を確保することが重要となってきました。

## 地域におけるスポーツ機会の減少

- 地域コミュニティの希薄化が進む中、スポーツを通じた人々の交流や地域でのスポーツ機会が減少しており、身近な場所で気軽にスポーツに親しむ機会の創出が求められています。

## スポーツ施設へのニーズの多様化

- 地球温暖化や急激な気候変動等が進む中、市民の誰もが、安全・快適にスポーツ活動を行えるよう、気候や気温の変化などに対応した施設機能や、ユニバーサルデザインを取り入れたスポーツ施設が求められています。



### 国：第3期スポーツ基本計画

- 第2期スポーツ基本計画の基本方針を踏襲しつつ、東京2020大会のレガシーの継承・発展に資する重点施策に加え、「① スポーツをつくる／はぐくむ、② あつまり、スポーツをともに行い、つながりを感じる、③ スポーツに誰もがアクセスできる」の新たな3つの視点を踏まえた12の施策が盛り込まれています。

### 県：栃木県スポーツ推進計画2025

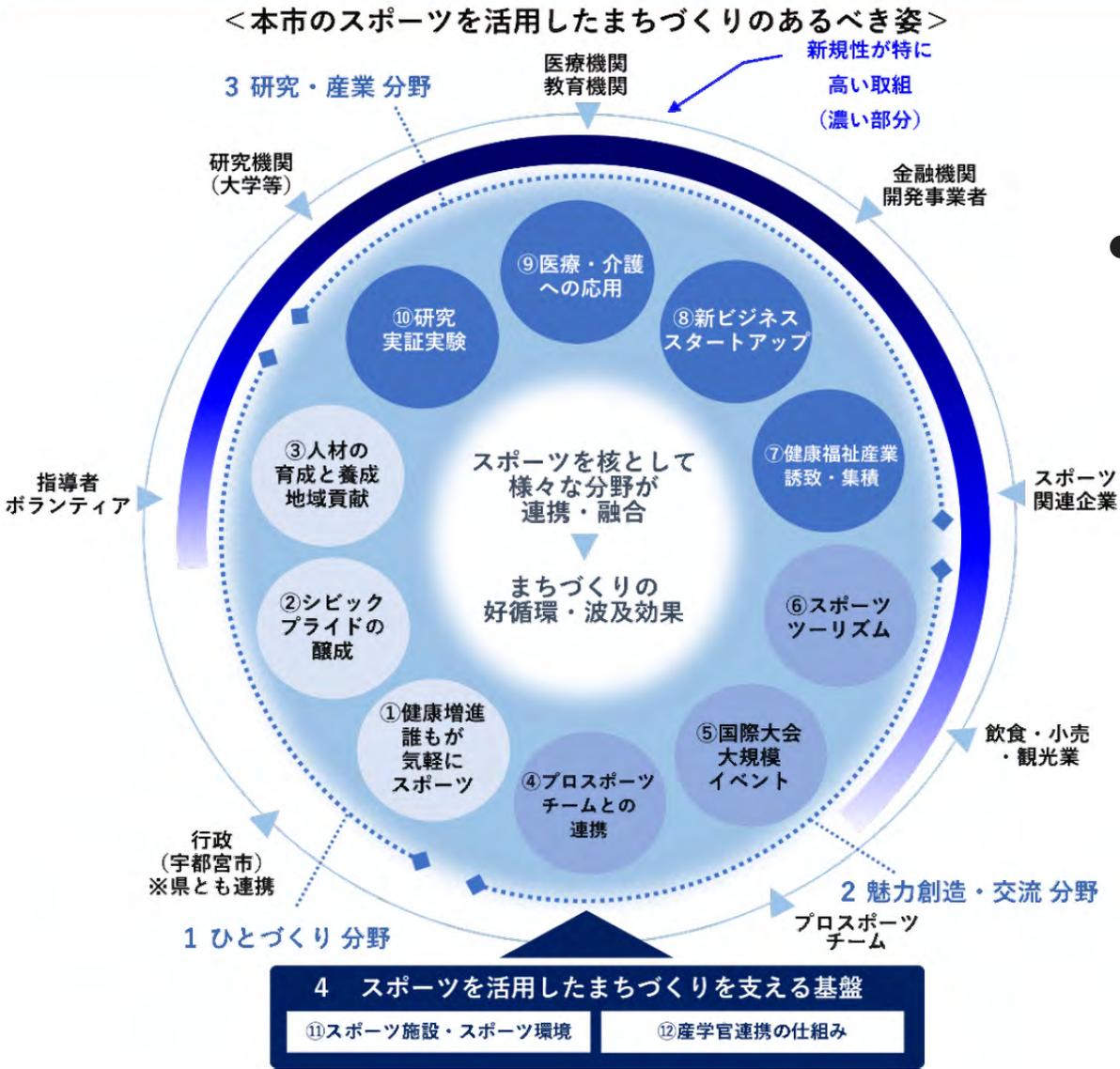
- 「スポーツを通じて夢や感動を共有しスポーツで人生を豊かにする“とちぎ”の実現」を基本理念としながら、「スポーツ参画人口の拡大」、「スポーツ施設の充実とスポーツによる地域活性化」、「国民体育大会※・全国障がい者スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の育成」の3つの柱を掲げ、スポーツの力を健康増進や地域の活性化等にも活用していく方向性を示しています。

※ 現在は「国民スポーツ大会」

### 本市：スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン

- 行政をはじめ、大学等の研究機関や事業者などの多様な主体が連携するとともに、スポーツと様々な分野を連携・融合できる機会・場を創出し、スポーツが有する効果や価値を最大限高める取組を推進しています。

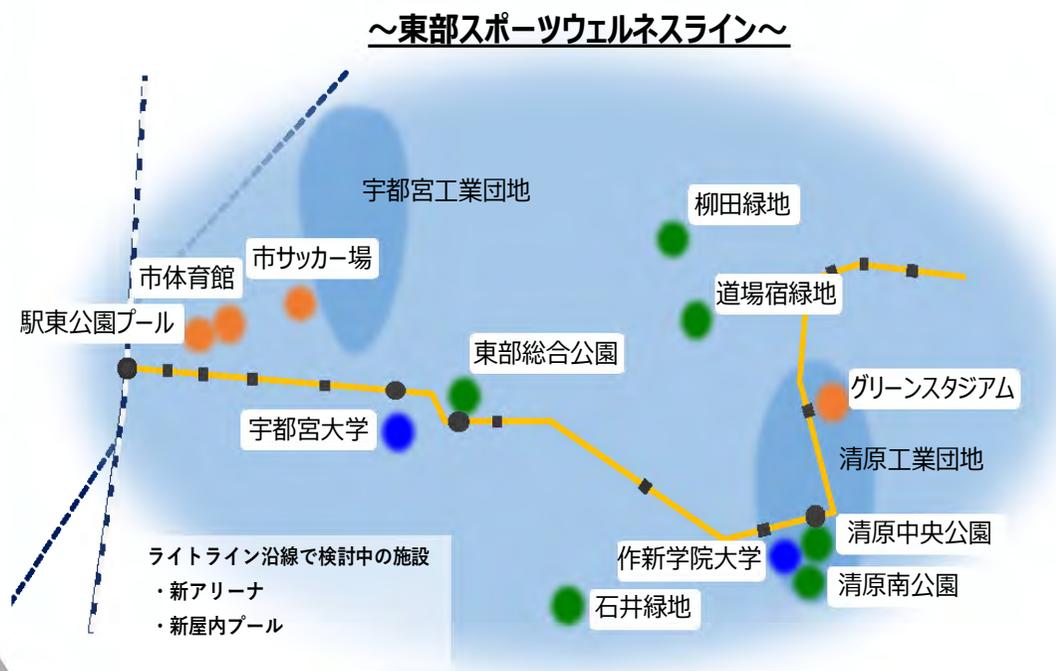
## スポーツを活用したまちづくり推進ビジョンの示す方向性①（令和6年1月時点）



- 「ひとづくり」や「魅力創造・交流」，「研究・産業」の各分野において，民間事業者による新たなスポーツビジネスの創出・拡大に向けた活動支援や，企業やプロスポーツをはじめとする各種スポーツ団体，大学，行政，市民等が一体となり，ウェルビーイングの向上に向けた取組を創出するとともに，産学官連携のポテンシャルの高いライトライン沿線を「東部スポーツウェルネスライン」と位置づけ，さらなる連携・取組の強化を図ります。

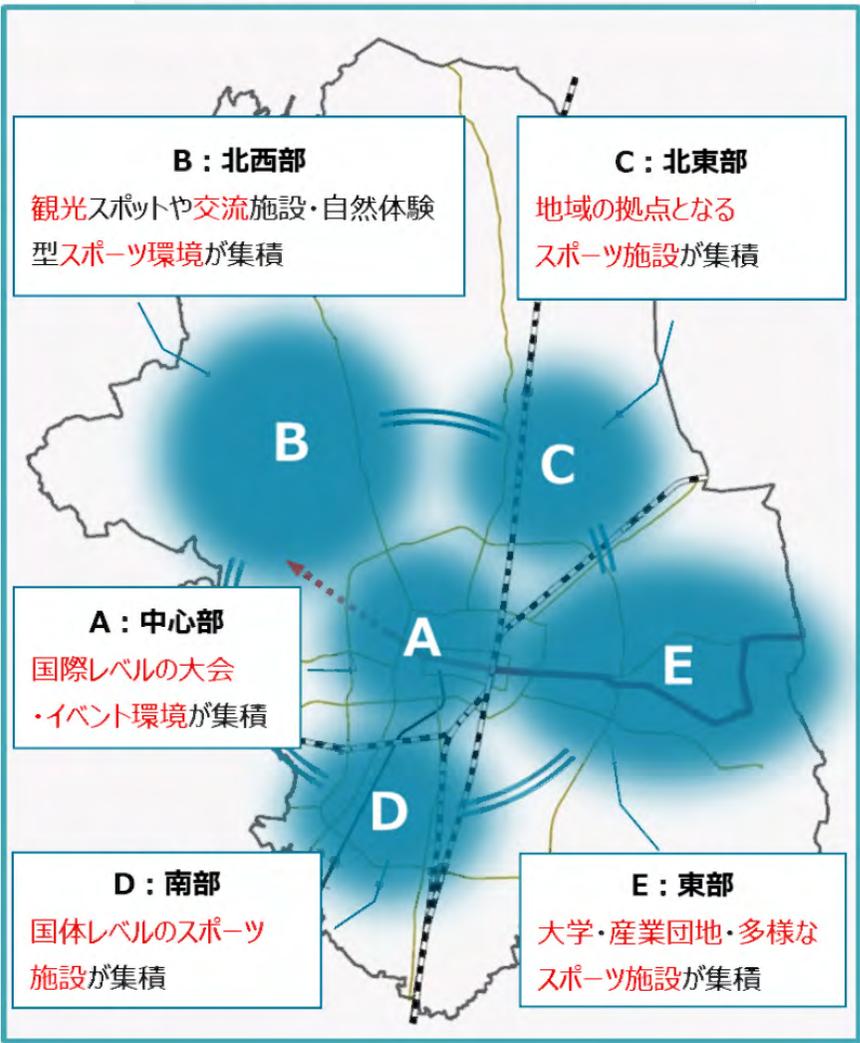
## スポーツを活用したまちづくり推進ビジョンの示す方向性② (令和6年1月時点)

	圏域の特色等
A：中心部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパンカップやFIBA3x3など国際レベルの大会や大型イベントを開催。街中ならではの「魅せる」スポーツにより、賑わい創出や市街地の活性化等を積極的に展開。</li> </ul>
B：北西部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷やろまんちっく村、森林公園など、観光スポットや交流施設、自然体験型スポーツ環境が集積。</li> <li>・北西部地域における生涯スポーツの受け皿として、地域体育施設の整備に取り組む。</li> </ul>
C：北東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河内総合運動公園には、ドリームプールかわちなど北東部の拠点となるスポーツ施設が集積。プロサッカーチームも活動。河内総合福祉センターなどの健康増進施設あり。</li> </ul>
D：南部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県総合運動公園では、栃木県による総合スポーツゾーンの整備促進など、新たな地域の顔となるスポーツ・レクリエーションの拠点として形成。国体レベルのスポーツ施設が集積。</li> </ul>
E：東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトライン沿線には、複数の大学や産業団地、多様なスポーツ施設等が集積している。</li> <li>・ライトライン開業により交通利便性が高く、トランジットセンター周辺等で地域特性に応じた拠点の形成が図られるなど、ポテンシャルが高まっている。</li> </ul>



## スポーツを活用したまちづくり推進ビジョンの示す方向性② (令和6年1月時点)

< 圏域の特色等 (主なもの) >



1 **ひとづくり (身近なスポーツ環境)**  
 ▽市域全体において、身近な地域で気軽にできるスポーツや健康増進など「ひとづくり」の環境を整備 (主なもの：北西部地域体育施設や新屋内プールの整備など)  
 地域体育施設      屋内プール      保健センター



2 **魅力創造・交流 (見るスポーツ施設, イベント環境)**  
 ▽各圏域の特色や強みを生かしながら、都市の「魅力創造・交流」機能を充実 (主なもの：新アリーナ整備支援, 東部総合公園新整備, 宇都宮森林公園リニューアル)  
 新アリーナ      東部総合公園      宇都宮森林公園



3 **研究・産業 (産学官連携の機会・場)**  
 ▽産学官連携による「研究・産業」機能の向上を図るための基盤づくり (「東部スポーツウェルネスライン」での取組強化)

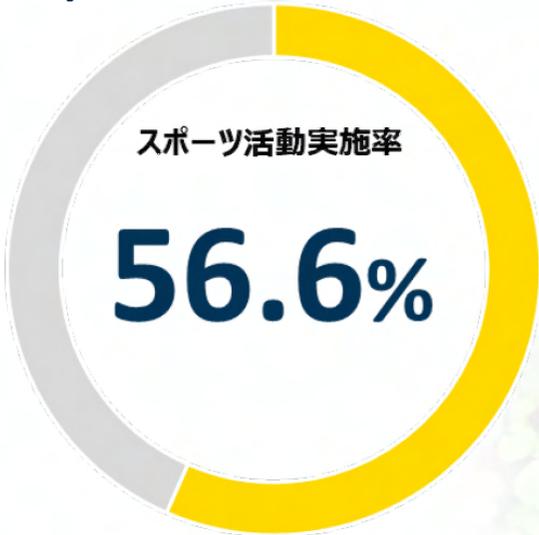


## 市民アンケート

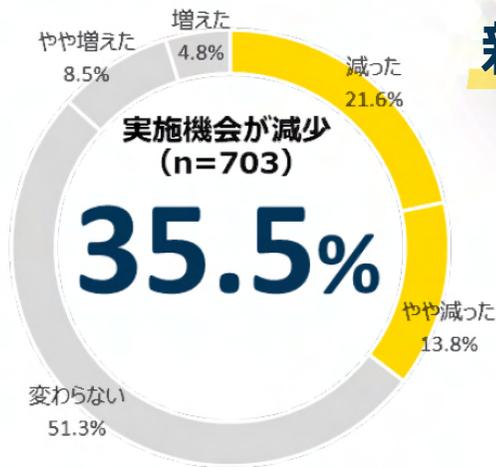
- 本計画策定に向け、市民のスポーツ活動に関するニーズや実態を把握するとともに、スポーツ振興事業を推進していく基礎資料とするため、スポーツについての意見・ニーズなどのアンケートを実施しました。

方法	調査地域	宇都宮市全域
	調査対象	無作為抽出による18歳以上の市民
	対象者数	3,000人
	調査方法	郵送による配布、回答
	調査期間	令和5年10月17日～10月31日
結果	回収数	859票
	回収率	28.6%
集計	<p>回答率は、その設問に回答すべき人数（回答者総数）を分母とした百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。</p> <p>設問によっては、一人の回答者が一つだけ回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%にならないものもあります。一人の回答者が2以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を超えることもあります。</p> <p>本調査における地域区分は、以下のとおりです。</p>	
中央	昭和，中央，西，錦，西原，東，築瀬	
東部	石井，泉が丘，今泉，清原，城東，平石，峰，陽東	
西部	桜，城山，姿川，宝木，戸祭，富士見，細谷・上戸祭，明保	
南部	五代若松原，雀宮，瑞穂野，緑が丘，宮の原，陽南，横川，陽光	
北部	上河内，河内，国本，篠井，富屋，豊郷，御幸，御幸が原	

## スポーツ活動実施率

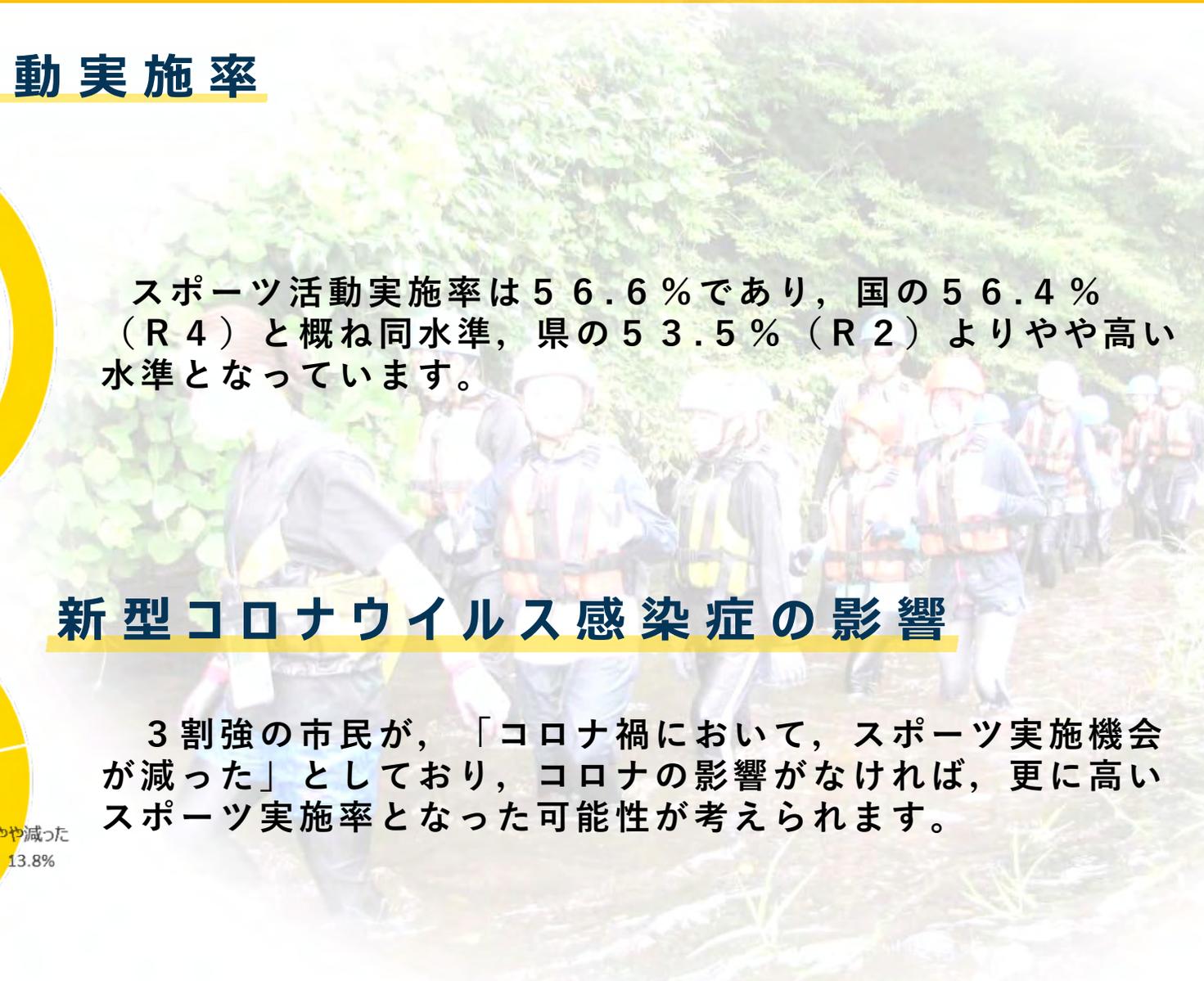


スポーツ活動実施率は56.6%であり、国の56.4%（R4）と概ね同水準、県の53.5%（R2）よりやや高い水準となっています。

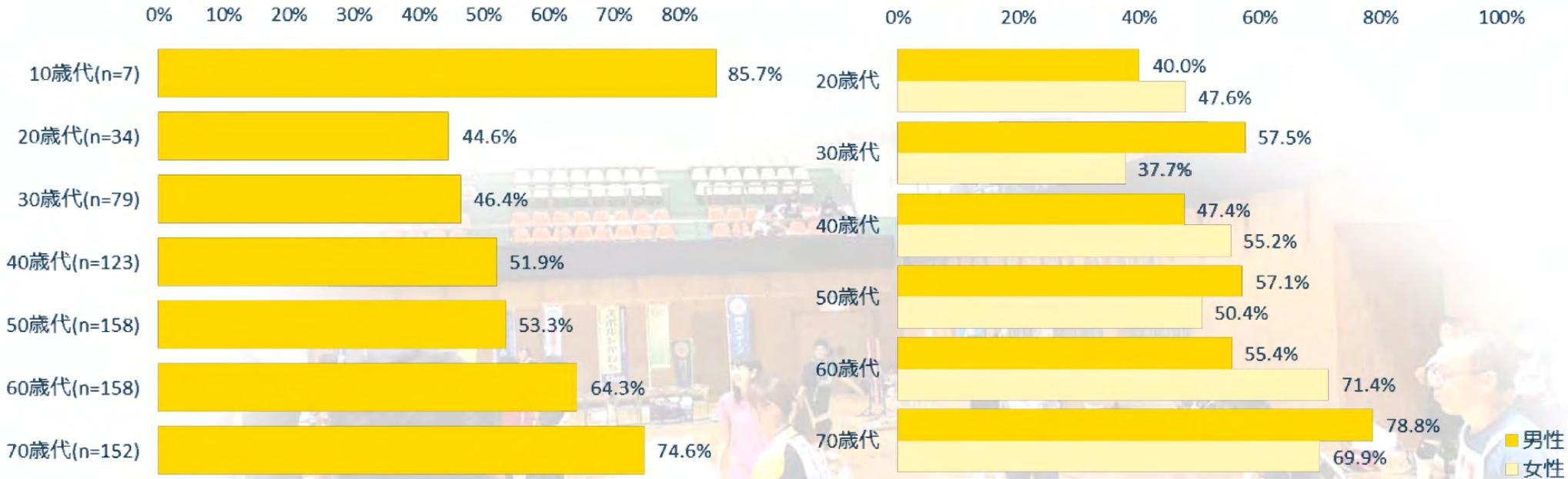


## 新型コロナウイルス感染症の影響

3割強の市民が、「コロナ禍において、スポーツ実施機会が減った」としており、コロナの影響がなければ、更に高いスポーツ実施率となった可能性が考えられます。



## スポーツ活動実施率（性別・年代別）



### 20～30歳代

年代別にみると、20～30歳代で特に低い傾向にあります。

### 30歳代



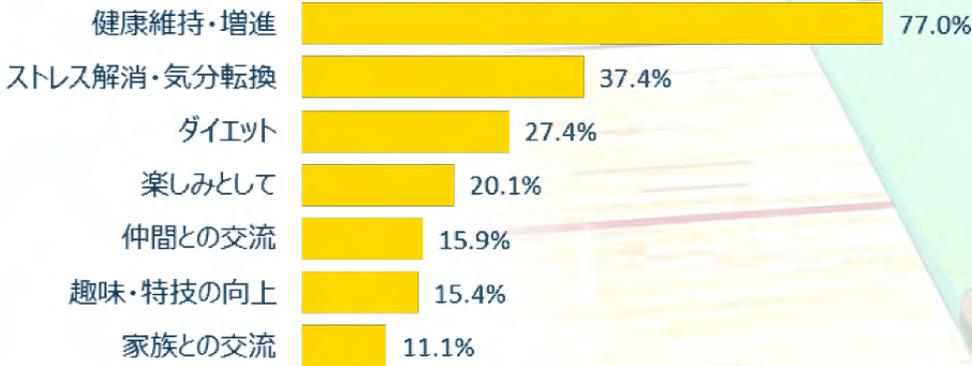
年代をさらに性別で分けると、30歳の女性で特に低い状況にあります。

## 🏃 スポーツ実施の動機

## 🏃 スポーツへの支払い意思額

スポーツ実施の動機上位7項目 (n=696)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%

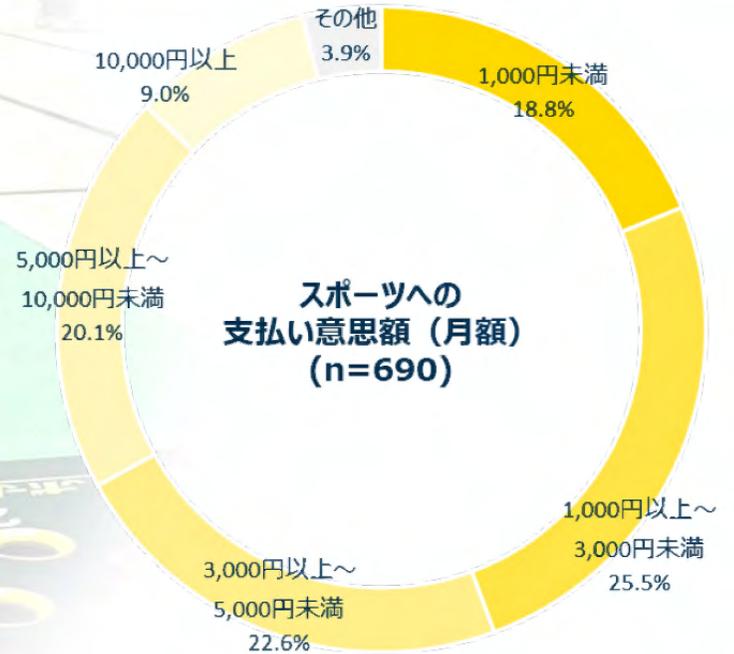


**健康**



健康維持・増進が突出して高い状況です。ストレス解消をメンタルヘルスの一環と捉えれば、上位3項目は心身のケアに関するものです。

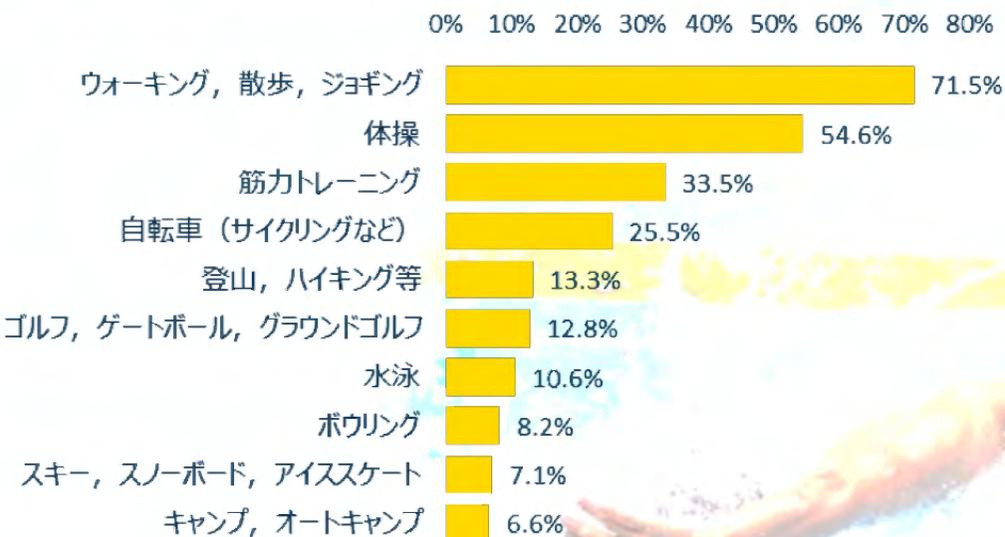
スポーツへの支払い意思額 (月額) (n=690)



約9割が1万円未満、うち千円～3千円がボリュームゾーンとなっています。

## 実施したスポーツ

実施したスポーツ上位10項目 (n=821)



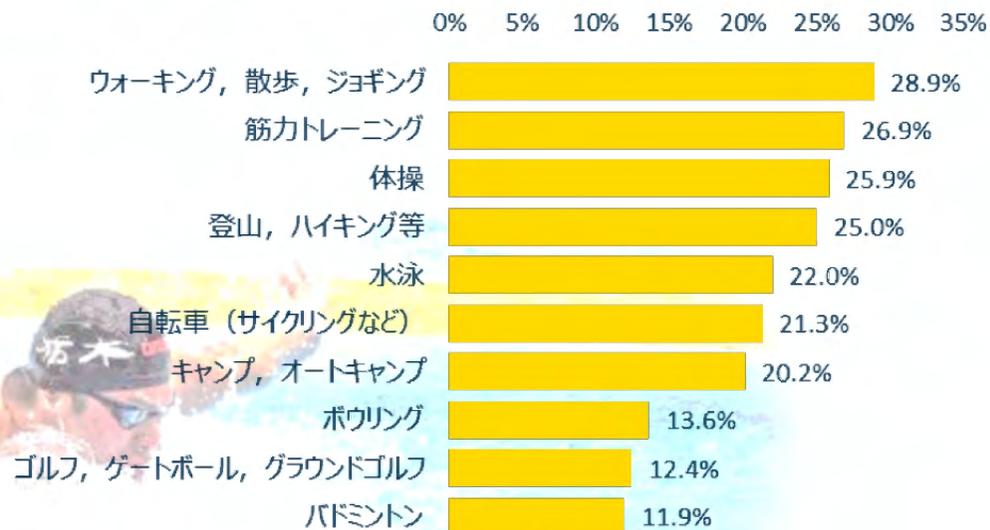
### ウォーキング



ウォーキングを始めとした、道具を必要とせず、一人でもできるスポーツの実施率が高い状況です。

## 実施したいスポーツ

実施したいスポーツ上位10項目 (n=595)



### 水泳

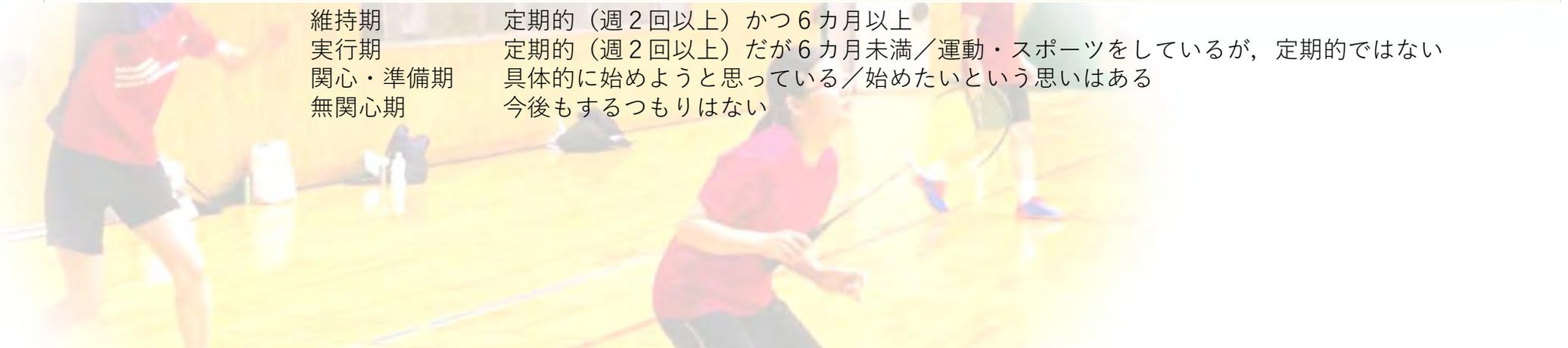
概ね、実施している種目と同様になっていきますが、水泳については実施したい種目ではありますが、実際の実施率が少ないことが読み取れます。

## 運動・スポーツ実施の継続状況

運動・スポーツを全く実施していない層は少数派であり，実行期層がボリュームゾーンになっています。

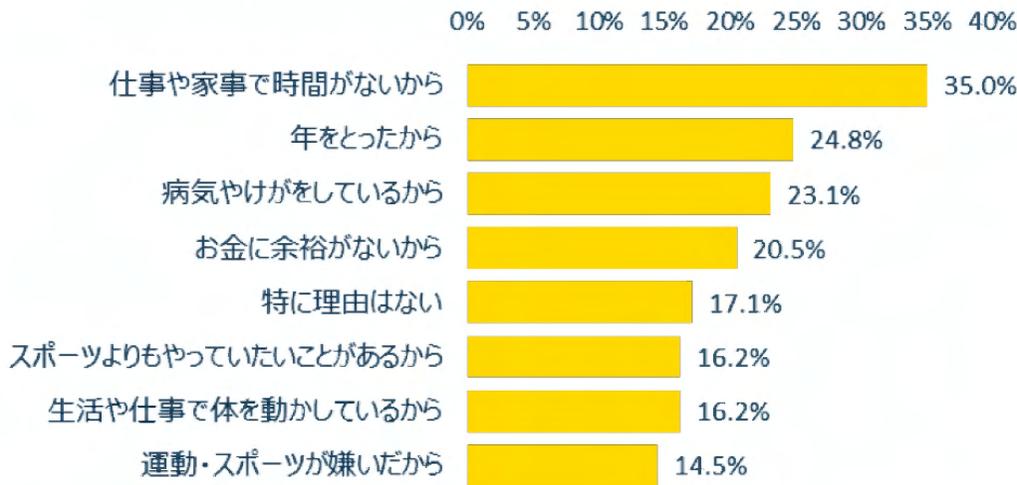


維持期	定期的（週2回以上）かつ6カ月以上
実行期	定期的（週2回以上）だが6カ月未満／運動・スポーツをしているが，定期的ではない
関心・準備期	具体的に始めようと思っている／始めたいという思いはある
無関心期	今後もするつもりはない



## スポーツをしない理由

スポーツをしない理由上位8項目 (n=117)



### 時間がない

時間がない（とれない）ことが最もハードルになっています。

また、令和元年度と比べると、金額面や高齢化を理由とする割合が高くなっています。

【参考】令和元年度

- ・ 時間がない 30.5%
- ・ 高齢のため 5.5%
- ・ 体調がすぐれない 18.6%
- ・ お金がかかる 5.4%
- ・ 特に理由はない 20.9%
- ・ スポーツ運動が嫌い 22.1%

## 🏃 スポーツ活動実施率（地域別）

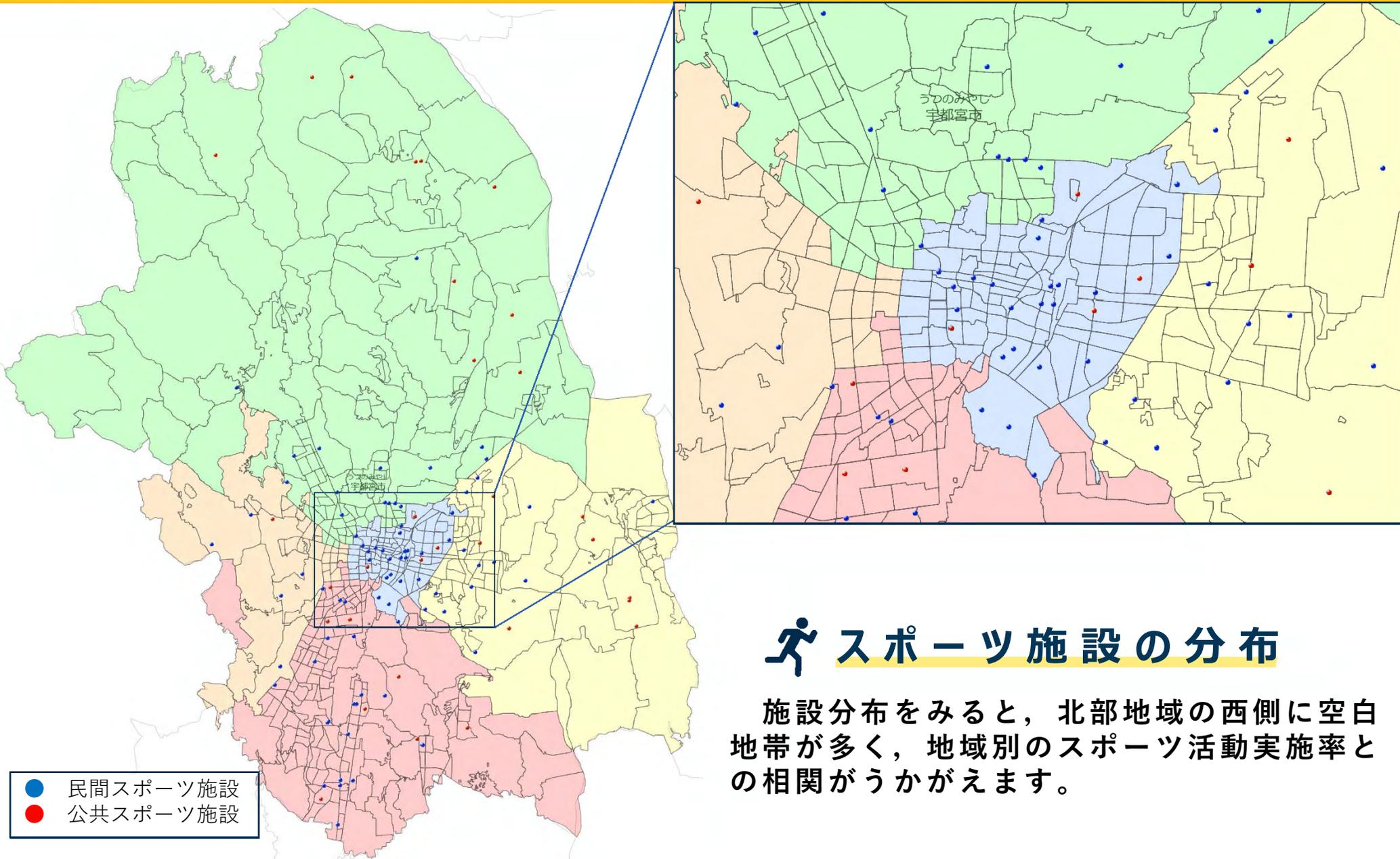
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



### 南部

地域別にスポーツ活動実施率をみると概ね同程度の水準にありますが、南部が61.7%と最も高く、北部が57.2%と最も低い状況となっています。





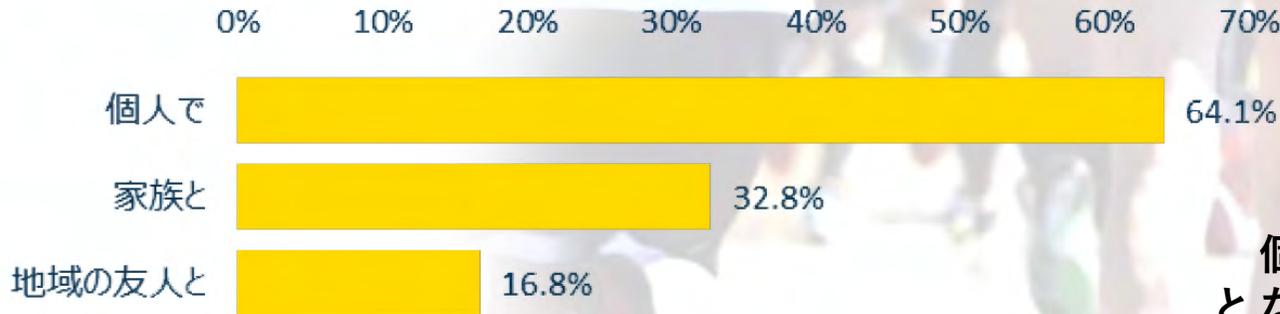
## 歩 スポーツ施設の分布

施設分布をみると、北部地域の西側に空白地帯が多く、地域別のスポーツ活動実施率との相関がうかがえます。

- 民間スポーツ施設
- 公共スポーツ施設

## スポーツ実施の形態

スポーツ実施の形態上位3項目 (n=696)



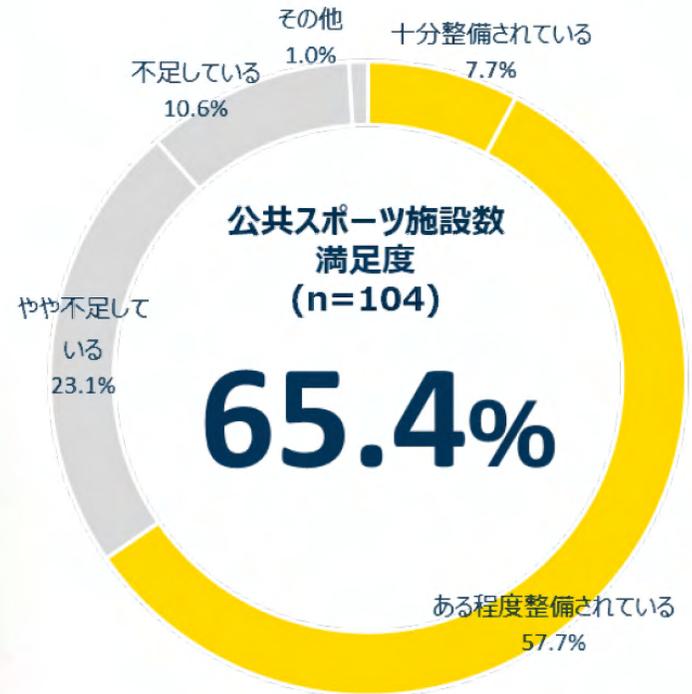
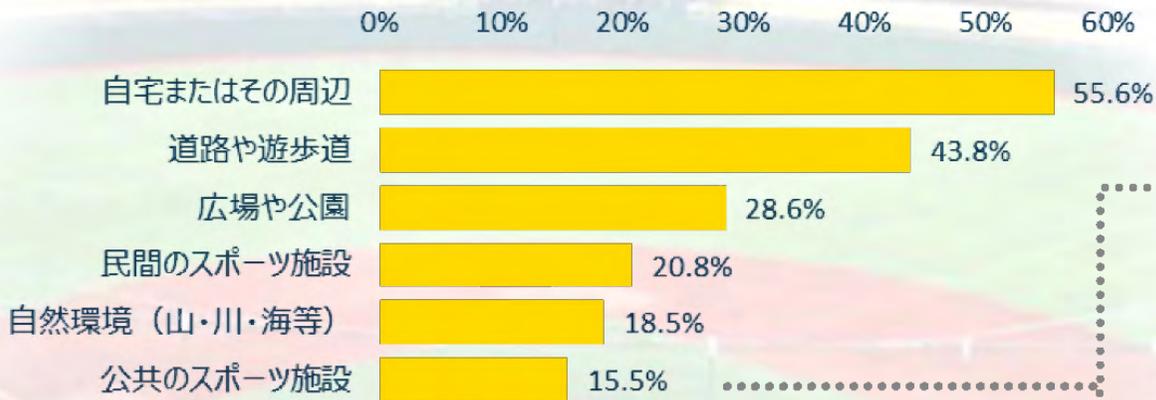
個人が突出して高く、次いで家族となっています。また、個人については令和元年度と比べても割合が高まっています。

【参考】令和元年度

- ・ 1人 57.8%
- ・ 家族 30.5%
- ・ 友人・知人 25.8%

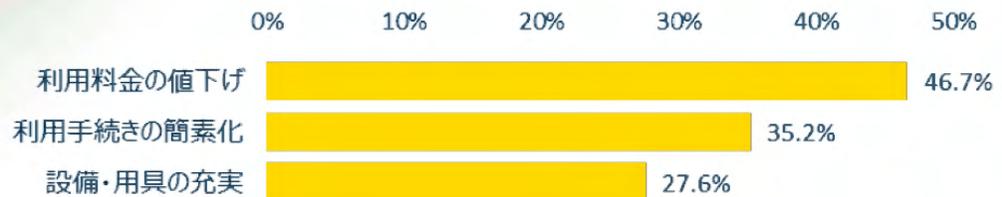
## 公共スポーツ施設数満足度

スポーツ実施の場所上位6項目 (n=696)



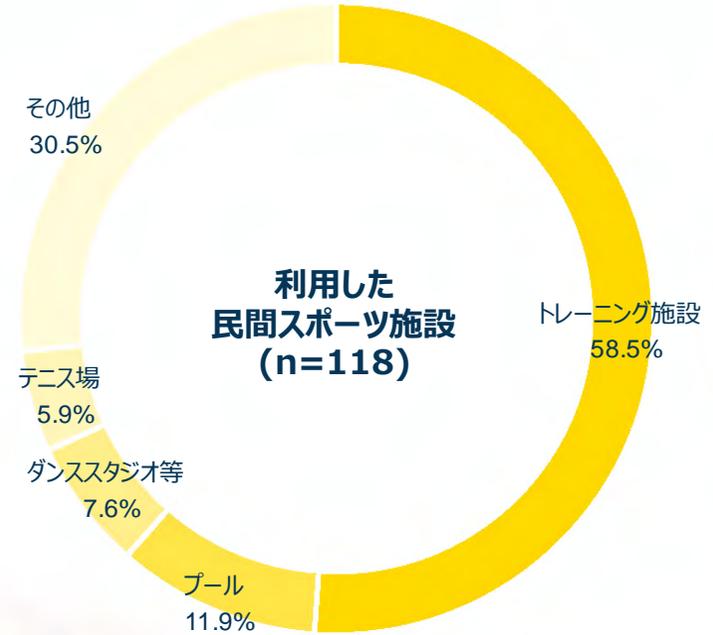
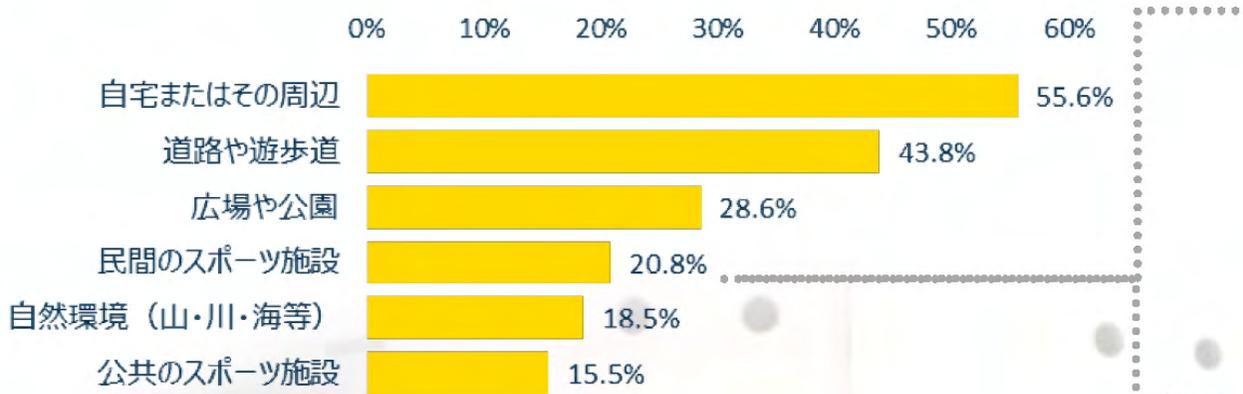
公共スポーツ施設数の満足度は65.4%となっており、施設への要望は利用料金の値下げが最も割合が高くなっています。

公共施設への要望上位3項目 (n=105)

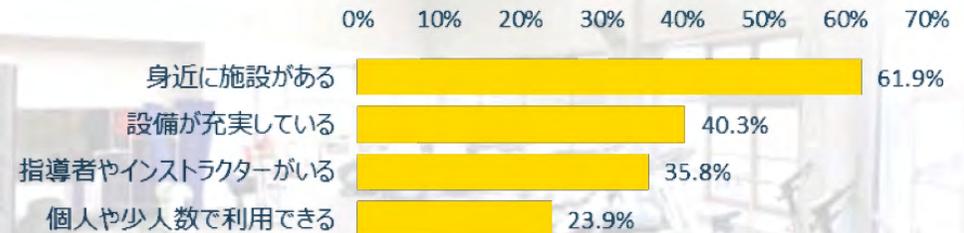


## スポーツ実施場所

スポーツ実施の場所上位6項目 (n=696)



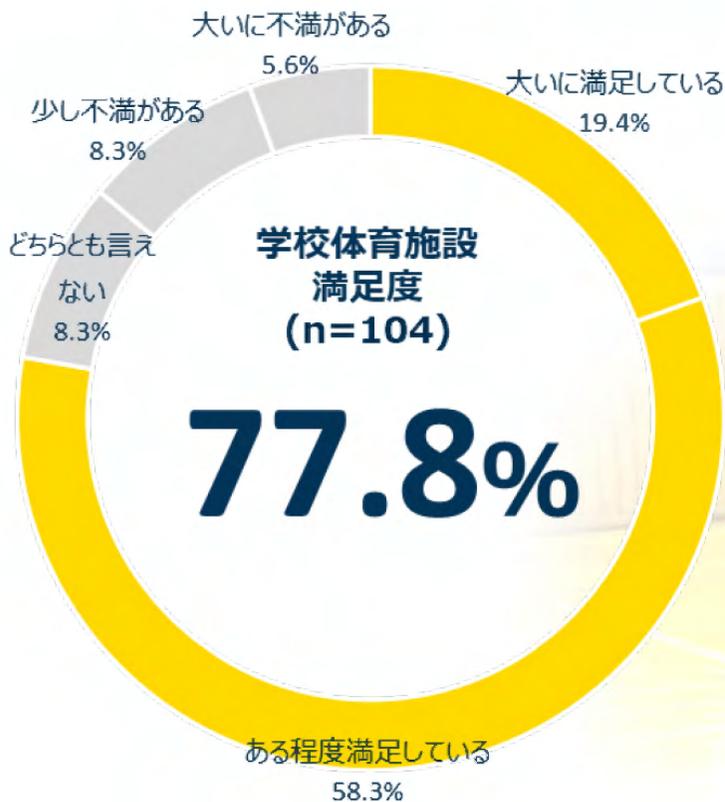
民間施設を選ぶ理由上位4項目 (n=134)



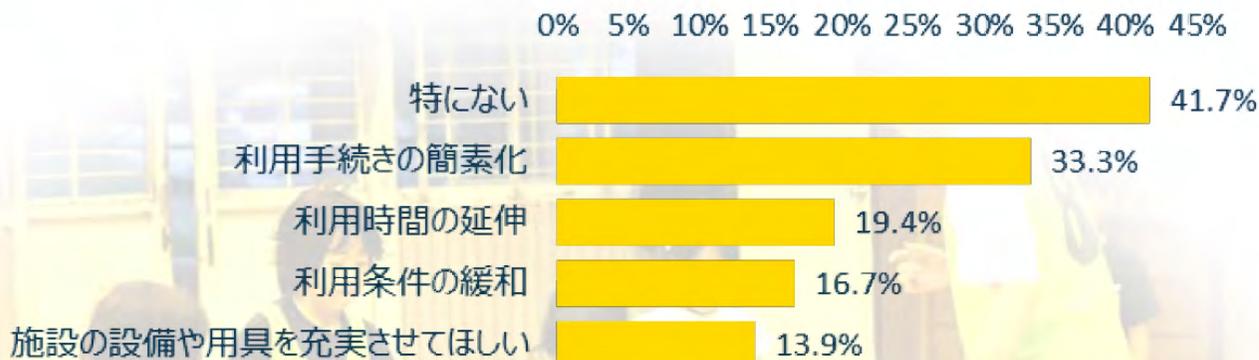
## スポーツ施設へのニーズ

スポーツ実施場所としては自宅やその周辺の割合が高くなっています。また、民間施設が選ばれる理由から、身近に施設があることや設備が充実していることの重要性がうかがえます。

## 学校体育施設満足度



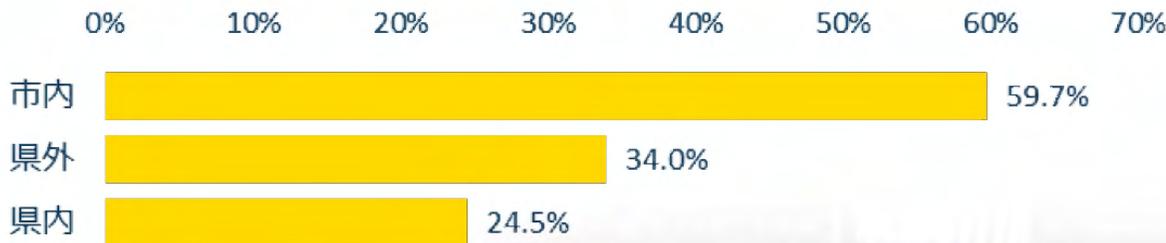
### 学校体育施設に関する要望上位5項目 (n=36)



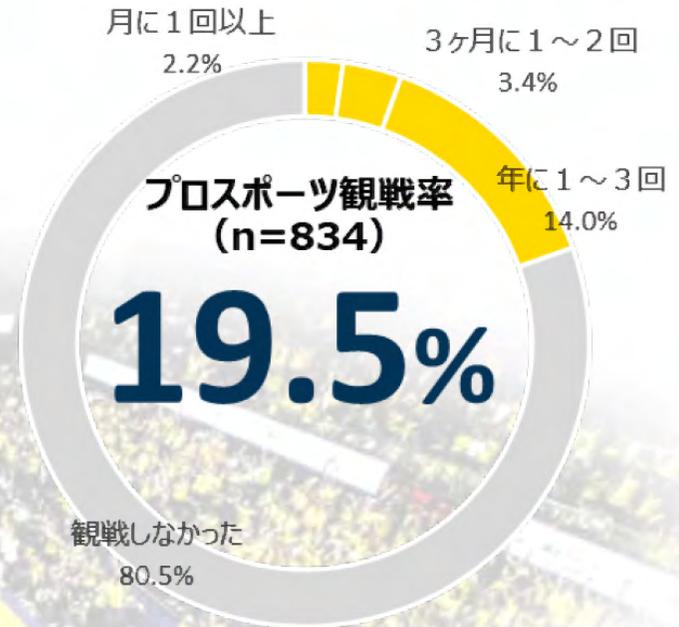
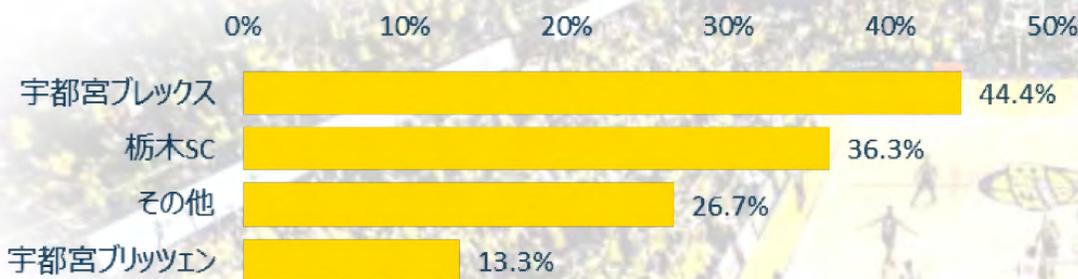
学校体育施設利用の満足度は高いものの、手続きの簡素化を始めとして、「より使いやすく」という視点からの要望が散見されます。

## 直接会場へ行ったプロスポーツ観戦率

観戦した場所上位3項目 (n=159)

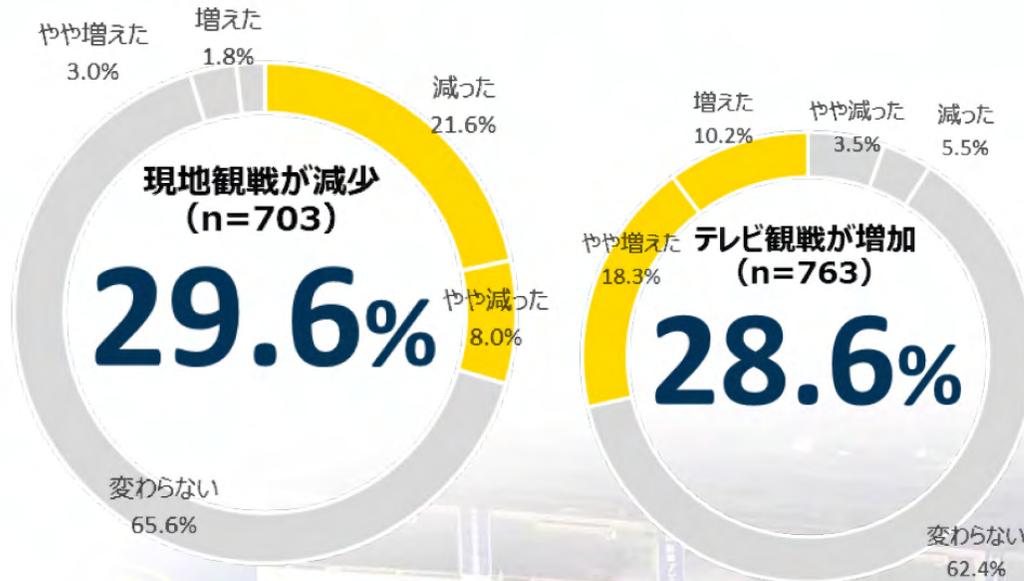


観戦したプロスポーツ上位4項目 (n=135)

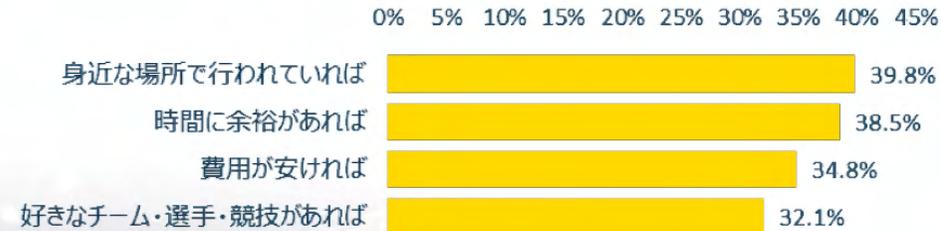


本市のプロスポーツ観戦率（直接）は19.5%で、内訳としては、宇都宮ブレックスや栃木SCの観戦経験が多くなっています。

## スポーツ観戦に関する新型コロナウイルス感染症の影響



観戦の動機付け上位4項目 (n=842)



約3割の市民が、「コロナ禍において、現地でのスポーツ観戦機会が減った」としています。

概ね同程度の割合でテレビ観戦が増加していることから、観戦そのものは水準を維持していると言えます。また、観戦の動機としては「身近さ」が最も割合が高いことから、多くの方に市内でスポーツ観戦できるような環境が求められていると想定されます。

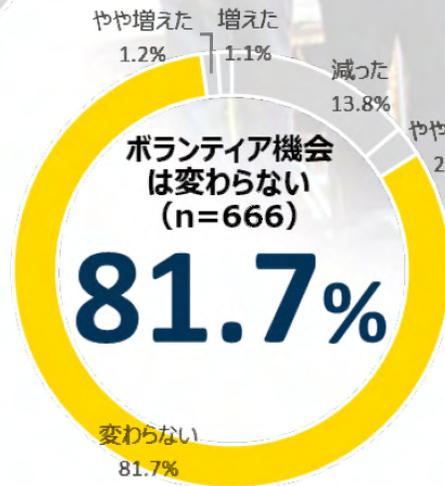
## スポーツボランティア参画率

本市のスポーツボランティア参画率は10.3%と、国の9.9%（R4）と概ね同水準となっています。

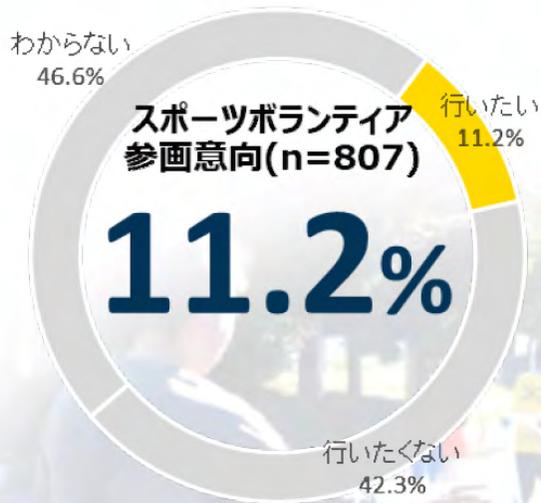


## 新型コロナウイルス感染症の影響

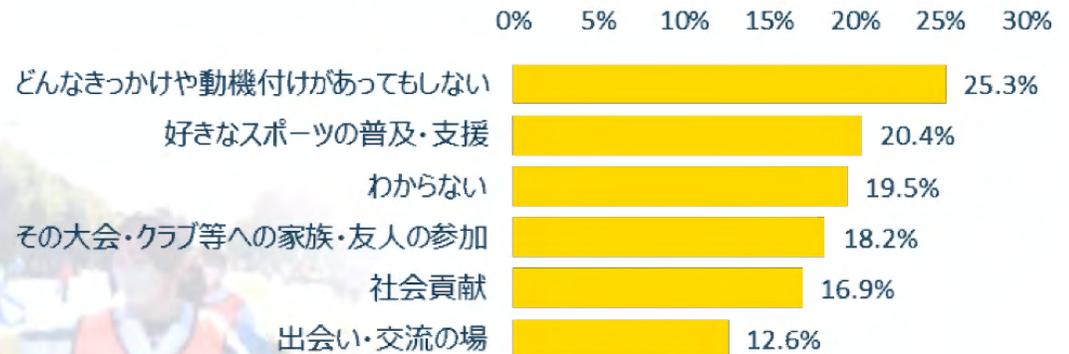
ボランティア参画へのコロナ禍の影響は、「変わらない」が81.7%と、影響度は小さいと言えます。



## スポーツボランティア参画率

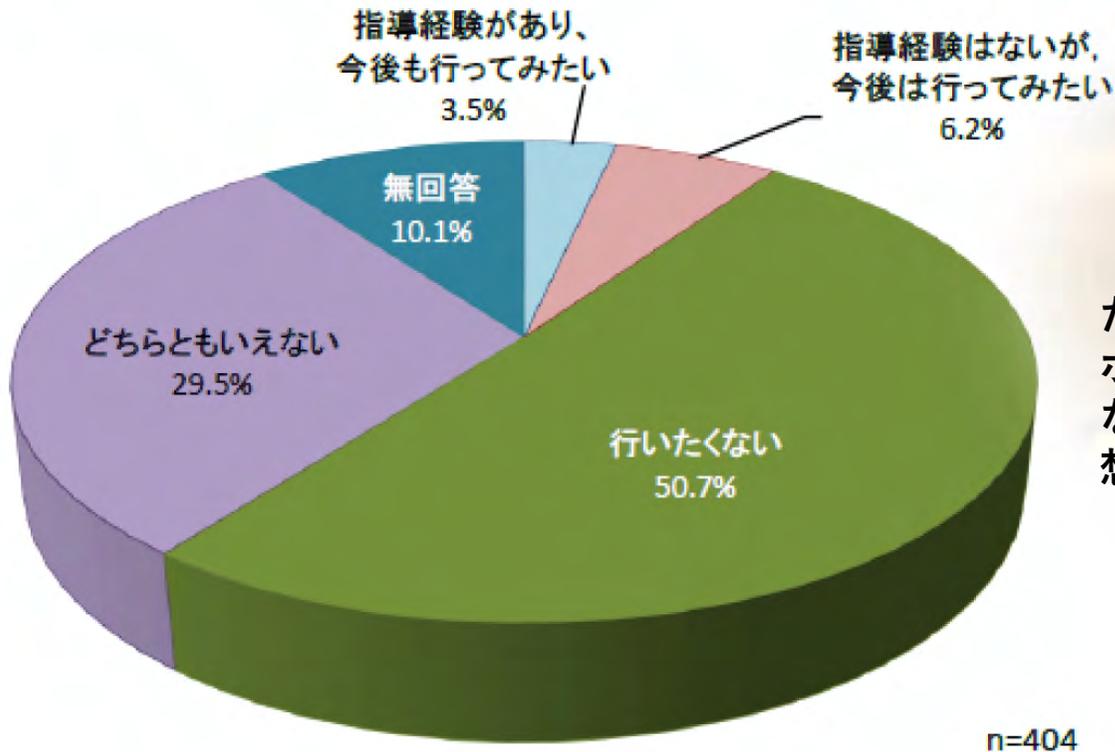


ボランティア参画の動機付け上位6項目 (n=692)



参画意向が11.2%と参画率10.3%との差が小さく、意向のある方は実際にボランティアに参画していることがうかがえますが、参画の動機付けとしては、「どんなきっかけや動機付けがあってもしない（できない）」が最も多いことから、人材確保の困難さが表れています。

## スポーツに関する指導



今後スポーツに関する指導を行ってみたい割合が約10%であることから、スポーツ指導者の確保に向けては、潜在的な指導意向がある人材の発掘が必要だと想定されます。

※ 第56回宇都宮市政世論調査（R5年度実施）より抜粋



## スポーツ関係団体へのヒアリング調査

市内のスポーツ関係団体へアンケート及びヒアリング調査を実施しました。  
競技により若干の差異はあるものの、施設利用に関する意見が多くあがりました。

### 満足

- 施設の充実（設備等）
- 施設利用の調整（大会等）
- 施設利用の減免・活動への助成
- 施設管理者の競技に対する理解
- スポーツに関する広報・露出機会
- 市と競技団体の良好な関係性

### 不満

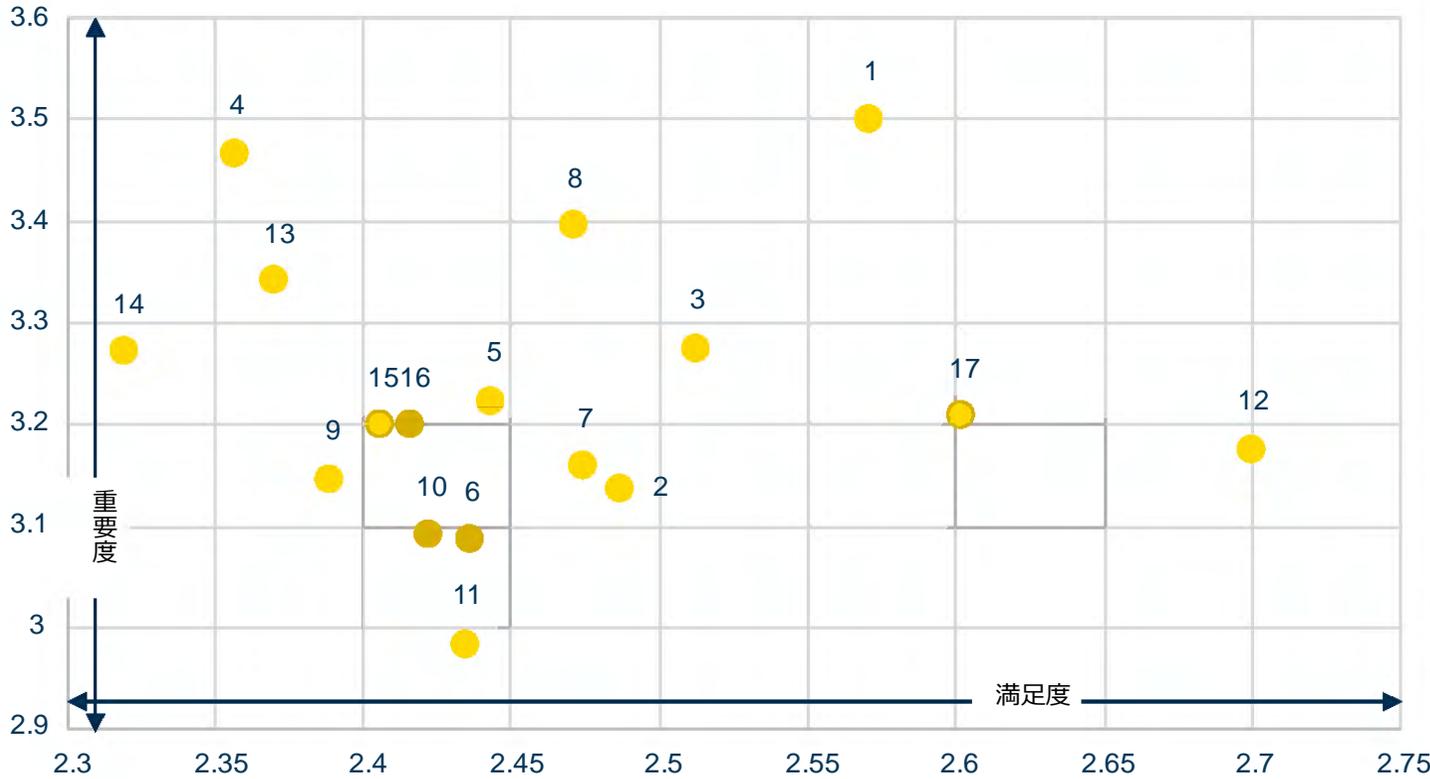
- マイナースポーツの活動場所
- 施設の老朽化・閉鎖
- 大規模大会の開催・誘致
- 施設利用（日常的な予約が困難）
- 利用料金の高さ
- 使用時間の柔軟性





## 個別施策の評価（市民アンケート調査）

市民アンケートにて施策の重要度・満足度を調査（5段階評価）を行った結果、重要度はほぼ全ての施策で3以上となりました。



1. 子どものスポーツへの興味・関心の高揚 ※子どもを対象とした周知啓発・体験事業など
2. 成人のスポーツ参加の促進 ※成人を対象とした周知啓発・体験事業など
3. 高齢者のスポーツ活動の促進 ※高齢者を対象とした周知啓発・体験事業など
4. 障がい者のスポーツ活動の促進 ※スポーツ施設のバリアフリー化など
5. 多世代にわたるスポーツ活動の促進 ※総合型地域スポーツクラブ育成活動支援など
6. 地域におけるスポーツ活動の推進 ※スポーツ指導デリバリー事業の実施など
7. トップレベルのスポーツに触れる機会の創出
8. スポーツ施設等の整備
9. スポーツ教室・講習会の開催
10. 競技スポーツの向上（競技人口やレベル）
11. 野外活動事業の充実（キャンプ、ハイキング、サイクリング）
12. スポーツ大会の開催・支援
13. スポーツ施設の利便性の向上
14. スポーツ指導者の育成・活用
15. スポーツ活動団体の育成・支援
16. スポーツ情報提供の充実
17. まちづくりや観光へのスポーツの活用

現行計画の具体的な取組である基本項目について、評価を実施しました。

基本施策	個別施策	基本項目
1 ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進	1-1 子どものスポーツへの興味・関心の高揚	①楽しくスポーツを選ぶ機会づくり ②「宇都宮市小中学校体力向上推進計画（うつのみや元気っ子プロジェクト）」との連携
	1-2 成人のスポーツ参加の促進	③スポーツに参会しやすい機会づくり ④「（第2次）健康うつのみや21」との連携 ⑤ライフスタイルの中にあるスポーツ活動の促進 ⑥「自転車のまち宇都宮」の推進
	1-3 高齢者のスポーツ活動の促進	⑦高齢者スポーツ活動拠点の確保 ⑧生きがいとなるスポーツ発見の機会づくり
	1-4 障がい者のスポーツ活動の促進	⑨スポーツ施設のバリアフリー化 ⑩障がい者スポーツの普及促進
	1-5 多世代にわたるスポーツ活動の促進	⑪総合型地域スポーツクラブの育成，活動支援
2 スポーツ活動環境の充実	2-1 地域におけるスポーツ活動の推進	⑫総合型地域スポーツクラブ間の連携促進 ⑬地域でのスポーツ活動の促進
	2-2 トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	⑭トップレベルスポーツの開催・誘致 ⑮プロスポーツ選手等との連携
	2-3 スポーツ施設等の整備	⑯スポーツ施設のあり方検討及び計画的整備・改修の推進 ⑰施設の老朽化，機能向上などへの対応 ⑱防災機能の充実
	2-4 スポーツ教室・講習会の開催	⑲各種スポーツ教室，講演会の開催 ⑳地域訪問・学校訪問によるスポーツ指導
	2-5 競技スポーツの向上	㉑国体に向けた競技スポーツの支援 ㉒スポーツ人口の裾野拡大 ㉓スポーツ大会出場支援
	2-6 野外活動事業の充実	㉔自然環境を生かした野外活動の推進
	2-7 スポーツ大会の開催・支援	㉕参加型スポーツ大会，観戦型スポーツ大会の開催
	2-8 スポーツ施設の利便性の向上	㉖施設予約システムの利便性の向上 ㉗利用者ニーズにあった施設利用環境の確保
3 スポーツを支える人材の育成・団体の活性化	3-1 スポーツ指導者の育成・活用	㉘市民ニーズに対応できるスポーツ指導者の発掘・活用
	3-2 スポーツ活動団体の育成・支援	㉙スポーツ団体間の連携強化 ㉚スポーツ団体の活動支援
	3-3 スポーツ情報提供の充実	㉛スポーツ情報サイトU-sportsの機能向上，活用促進 ㉜トップレベル選手のPR
	3-4 まちづくりや観光へのスポーツの活用	㉝「宇都宮市観光振興プラン」との連携 ㉞プロスポーツの支援

## 基本項目評価（基本施策1）

基本施策	個別施策	基本項目	評価
1 ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進	1-1 子どものスポーツへの興味・関心の高揚	①楽しくスポーツを選ぶ機会づくり	予定通りに達成できた          あまり達成できなかった
		②「宇都宮市小中学校体力向上推進計画（うつのみや元気っ子プロジェクト）」との連携	
	1-2 成人のスポーツ参加の促進	③スポーツに参加しやすい機会づくり	
		④「（第2次）健康うつのみや21」との連携	
		⑤ライフスタイルの中にあるスポーツ活動の促進	
		⑥「自転車のまち宇都宮」の推進	
		⑦高齢者スポーツ活動拠点の確保	
	1-3 高齢者のスポーツ活動の促進	⑧生きがいとなるスポーツ発見の機会づくり	
		⑨スポーツ施設のバリアフリー化	
	1-4 障がい者のスポーツ活動の促進	⑩障がい者スポーツの普及促進	
		1-5 多世代にわたるスポーツ活動の促進	

- 11項目中 10項目で「予定通りに達成できた」 1項目で「あまり達成できなかった」

⇒ ⑪については、クラブの設立・運営の中心となる人材の発掘が困難であったことや、コロナ禍の影響で地域との協議自体が行えない時期があったことが影響しています。

## 指標評価（基本施策1）

### 基本施策1 成果指標1

【総合型地域スポーツクラブがカバーする地域数】

目標値

39地域 (R6)

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
10	10	10	10	10	10	10	11	11

- 市全域における計画的な地域への説明会や協議を実施してきましたが、クラブの設立・運営の中心となる人材の発掘が困難であったことや、コロナ禍の影響で地域との協議自体が行えない時期もあり、令和5年時点で11地域と、目標値には達しませんでした。
- スポーツに参加しやすい機会づくりとしてのスポーツ教室の実施や施設のバリアフリー化などを着実に進めたほか、総合型地域スポーツクラブが複数地域をカバーする場合の運営を補助する「地区追加補助金」を新たに創設し、各クラブにおいて広域的な運営の検討が進んだものの、カバー地域の拡大に繋がりませんでした。

## 基本項目評価（基本施策2）

基本施策	個別施策	基本項目	評価
2 スポーツ活動環境の充実	2-1 地域におけるスポーツ活動の推進	⑫総合型地域スポーツクラブ間の連携促進 ⑬地域でのスポーツ活動の促進	予定通りに達成できた
	2-2 トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	⑭トップレベルスポーツの開催・誘致 ⑮プロスポーツ選手等との連携	
	2-3 スポーツ施設等の整備	⑯スポーツ施設のあり方検討及び計画的整備・改修の推進 ⑰施設の老朽化，機能向上などへの対応 ⑱防災機能の充実	
	2-4 スポーツ教室・講習会の開催	⑲各種スポーツ教室，講演会の開催 ⑳地域訪問・学校訪問によるスポーツ指導	
	2-5 競技スポーツの向上	㉑国体に向けた競技スポーツの支援 ㉒スポーツ人口の裾野拡大 ㉓スポーツ大会出場支援	
	2-6 野外活動事業の充実	㉔自然環境を生かした野外活動の推進	
	2-7 スポーツ大会の開催・支援	㉕参加型スポーツ大会，観戦型スポーツ大会の開催	
	2-8 スポーツ施設の利便性の向上	㉖施設予約システムの利便性の向上 ㉗利用者ニーズにあった施設利用環境の確保	

- 全項目で「予定通りに達成できた」
- 「㉑国体に向けた競技スポーツの支援」は、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会が終了したため、市の施策としても完了としています。

## 指標評価（基本施策2）

### 基本施策2 成果指標2

【スポーツ施設利用満足度】 ※ H27～29は調査未実施

目標値  
80% (R6)

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
—	—	—	87.0%	89.0%	93.3%	96.9%	96.4%	95.8%

### 基本施策2 成果指標3

【スポーツ教室の参加者数】

目標値  
50,000人 (R6)

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
49,127	49,066	49,336	49,590	44,927	21,866	16,378	36,192	37,445

- 満足度は大きく達成，教室参加者数もH30には概ね目標値と同水準を達成し，コロナ禍で落ち込みましたが，現在は回復傾向にあります。
- 市民がスポーツに親しみやすく，活動しやすい環境を整えるため，施設の老朽化等に対応したスポーツ施設の整備・改修や，身近な地域におけるスポーツ活動の推進等に着実に取り組むことができました。

## 基本項目評価（基本施策3）

基本施策	個別施策	基本項目	評価
3 スポーツを支える人材の育成・団体の活性化	3-1 スポーツ指導者の育成・活用	⑳市民ニーズに対応できるスポーツ指導者の発掘・活用	予定通りに達成できた
	3-2 スポーツ活動団体の育成・支援	㉑スポーツ団体間の連携強化	
		㉒スポーツ団体の活動支援	
	3-3 スポーツ情報提供の充実	㉓スポーツ情報サイトU-sportsの機能向上, 活用促進	
		㉔トップレベル選手のPR	
		㉕「宇都宮市観光振興プラン」との連携	
	3-4 まちづくりや観光へのスポーツの活用	㉖プロスポーツの支援	

- 全項目で「予定通りに達成できた」

## 📋 指標評価（基本施策3）

### 基本施策3 成果指標4

【スポーツ指導者研修の受講者数】 ※ H29, R2, R3は研修未実施

目標値  
800人 (R6)

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
606	688	—	661	526	—	—	365	460

- スポーツ少年団数の減少に伴う指導者の減少などにより、目標値には達しませんでした。（H27 257団体 ⇒ R5 200団体）
- 市スポーツ協会と連携しながら、各地区スポーツ協会や競技団体、スポーツ少年団への支援を行うとともに、スポーツ指導者の資質向上に向けて、指導者として必要な知識・スキルが習得できる研修を実施してきましたが、人口減少やコロナ禍の影響により、受講者数の増加には繋がりませんでした。

## 指標評価（基本目標）

### 基本目標

【20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率】

目標値  
75.0% (R6)

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
41.7%	44.3%	43.2%	41.1%	46.4%	49.6%	51.8%	50.8%	49.8%

※ 引用：宇都宮市政世論調査

- 各施策を実施し、計画初年度から上昇したものの、目標値には達しませんでした。
- 市民アンケート結果等から、スポーツ活動内容が団体や競技スポーツから、トレーニングやウォーキングなどの種目に移行してきており、非実施層の実施層への転換はあまり発生していないと考えられます。
- 子どもから高齢者まで幅広い世代のニーズに対応した様々なスポーツ教室の開催や各地区体育・スポーツ協会、競技団体、スポーツ少年団の支援など、スポーツニーズの変化に対応した各施策の展開により、実施率の上昇は図られたものの、目標値を達成するようなスポーツ未実施層の掘り起こしまでには繋がりませんでした。

## 【現行計画評価の総括】

【基本目標】 **スポーツ活動実施率の目標値（75%）は達成できなかったものの、数値は計画期間で増加**

【基本施策1】『**ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進**』においては、市全域における計画的な地域への説明会や協議を実施してきましたが、クラブの設立・運営の中心となる人材の発掘が困難であったことや、コロナ禍の影響で地域との協議自体が行えない時期もあり、目標値には達しませんでした。

【基本施策2】『**スポーツ活動環境の充実**』においては、施設の利用満足度は大きく達成、スポーツ教室参加者数はH30には概ね目標値と同水準を達成し、R1年以降はコロナ禍で落ち込みましたが、回復傾向にあります。

【基本施策3】『**スポーツを支える人材の育成・団体の活性化**』においては、スポーツ少年団数の減少に伴う指導者の減少などにより、目標には達しませんでした。

### 【個別施策・基本項目】

- 個別施策に関する市民アンケートではほぼ全ての施策で重要度が5段階で3以上となっています。
- 基本項目においては、ほぼ全ての項目で事業は順調に推進されたと評価しています。



### 【総括】

- 3つの基本施策に基づき、現行計画における様々な施策事業は順調に推進され、基本目標と2つの施策の目標値は達成できなかったものの、基本目標のスポーツ活動実施率は計画期間で増加しました。
- 市民アンケートでは、施策の重要度が高く、成果指標では目標値に達していないものもあることから、施策・取組の更なる充実・強化が必要です。

本市のスポーツに関する現状や、現行計画の評価などを踏まえ、以下のように課題を整理します。

## スポーツ活動実施率の向上

- A) スポーツ実施に向けた更なる環境整備や機運醸成、特に実施の頻度が少ない層や非実施層へのアプローチに取り組む必要があります。
- B) スポーツをしない理由として「時間がないこと」が最も高く、20～30歳代（特に女性）の実施率が低いことから、身近で気軽にできるスポーツ機会を提供していく必要があります。

## ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進

- C) 身近で気軽にできるスポーツ機会を提供する総合型地域スポーツクラブの存在は重要であり、民間スポーツクラブの増加などもある中でも、総合型地域スポーツクラブの果たすべき役割を整理し、全市域の配置バランス等を念頭に置きながら、新規設立や既存クラブによるカバー地域追加を推進していく必要があります。

## スポーツ活動環境の充実

- D) 夏季の猛暑などの環境の変化や施設の老朽化等に対応していくために、整備内容等を検討する必要があります。
- E) 引き続き、誰もがスポーツを楽しめる機会の提供として、より多くの市民が参加できるよう、社会情勢やライフスタイルに応じたスポーツ教室を開催する必要があります。

## スポーツを支える人材の育成・団体の活性化

- F) 個別施策の「スポーツ指導者の育成・活用」については、市民の満足度が最も低かったことから、市民の多様化するスポーツ活動ニーズや部活動の地域移行等に対応する人材を確保するため、スポーツ指導者の更なる育成を図るとともに、新たな人材を確保していく必要があります。

## スポーツの新たな価値

- G) 「スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン」に基づき、スポーツの多面的な有用性の向上と活用に取り組むことから、産学官が連携しスポーツの他分野への活用等を検討するプラットフォームの設立や「東部スポーツウェルネスライン」における連携・取組を推進する必要があります。

## 第3章 スポーツ推進の基本的な考え方



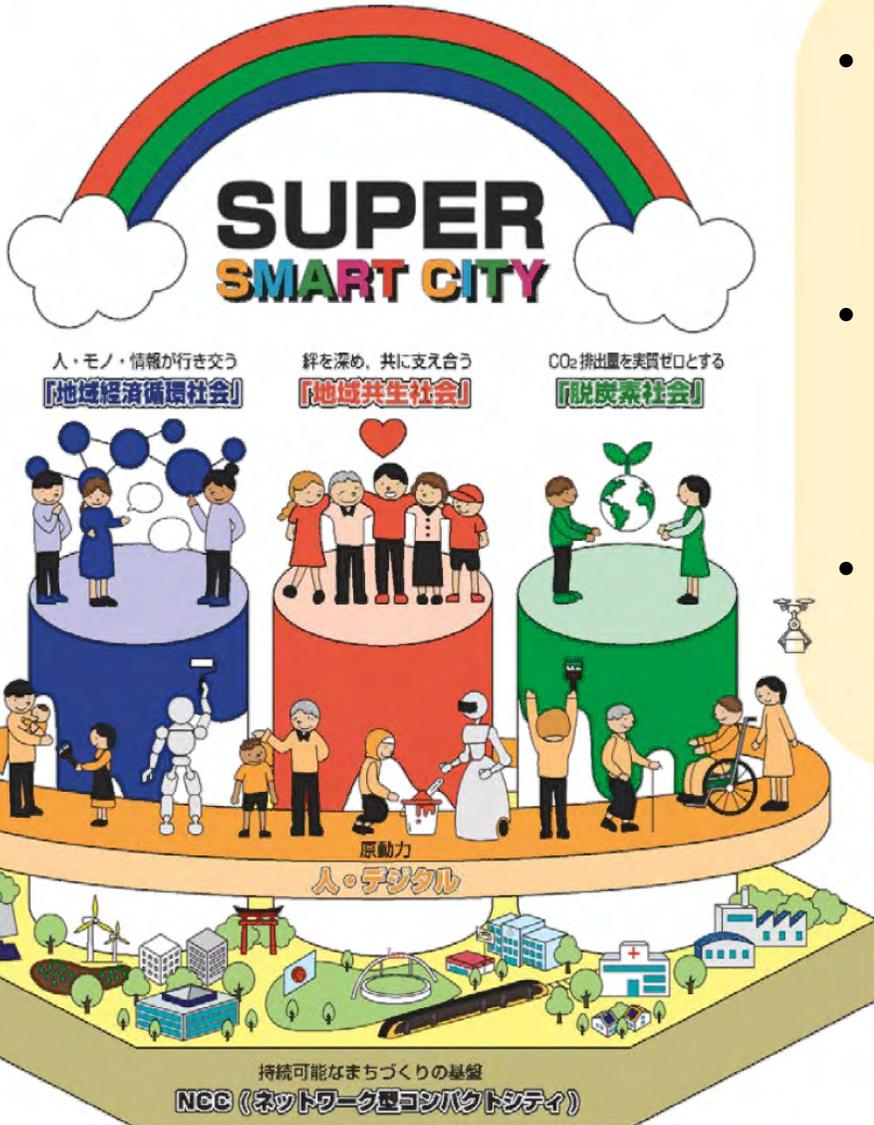
- 1.基本理念
- 2.施策の柱

## 本計画の基本的な考え方

- 本市では「だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会（ひとり1スポーツ）の実現」に向けて、「ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進」「スポーツ活動環境の充実」「スポーツを支える人材育成・団体活性化」に取り組んできました。
- 現行計画の目標値であったスポーツ活動実施率は上昇傾向にあるものの、目標値には達していないことから、スポーツに親しみの無い市民もそれぞれのライフスタイルに応じた様々な形でスポーツに関わる機会を増やし、スポーツの楽しさや素晴らしさを享受しながら生涯を通じてスポーツを楽しむことが出来る環境の整備を引き続き目指します。
- また、「スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン」に基づき、「する」「みる」「ささえる」のスポーツそのものの価値の強化に加え、スポーツの多面的価値の向上と活用に取り組みます。
- 計画の推進にあたっては、共創のまちづくりの視点を踏まえ、地域によるスポーツ活動環境創出への参画や、企業によるスポーツを活用した経済・産業活動、スポーツ関係団体による市民が集まり、共に活動する場の提供など、各主体が役割を担い、一体となって取り組みます。

夢や希望がかなうまち

## ★ スーパースマートシティ ★



## 目指すまちの姿

- 市民それぞれの年齢や健康状態，技術，興味，目的に応じて，障がいの有無等に関わらず，子どもから高齢者まで，スポーツに親しみ，生きがいを持って生活ができるまち
- スポーツ活動環境の充実が図られており，スポーツを通じた，世代を超えた人と人のきずなや地域のつながりによる，安全・安心を実感して生活ができるまち
- スポーツが盛んに行われていることやスポーツを活用した産業や観光振興，環境づくりなど，あらゆる分野において，本市のスポーツ資源が活用されており，魅力を発信することができるまち

「子どもから高齢者まで，誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ，夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」を実現し，SDGsの達成にも貢献していく。

## 【本計画のポイント】

### 【ポイント1】新たな基本理念の設定

これまでの「ひとり1スポーツ」の推進に加え、昨今はスポーツを活用した様々な社会課題の解決や、社会活性化等への寄与など、スポーツが持つ価値の変容に伴うスポーツの多面的な活用が求められていることから、「スポーツそのものが有する価値」と「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」が発揮された状態を基本理念として掲げ、それぞれの価値を高める各基本施策等において目標を設定し総合的に評価していきます。

### 【ポイント2】施策・取組の更なる充実・強化

現行計画評価において、市民アンケートでは、施策の重要度が高く、成果指標では目標値に達していないものもあることから、施策・取組の充実・強化に取り組んでいきます。

### 【ポイント3】スポーツを「する」「ささえる」人づくり

スポーツ機会の確保においては、スポーツ実施頻度の少ない年代層へアプローチするための、低廉かつ魅力あるスポーツ機会の提供を行っていくとともに、スポーツ少年団数の減少や部活動の地域移行等の課題もあることから、指導者の育成・活用と一体的に取り組んでいきます。

### 【ポイント4】スポーツを通してあつまりつながる 関係団体 施設の整備

国の視点を踏まえ、共生社会の実現に寄与できるよう、スポーツを通して様々な人々があつまり、つながるためのスポーツ関係団体の支援や施設整備に取り組んでいきます。

### 【ポイント5】スポーツの様々な分野への活用

「スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン」に基づき、様々な分野における課題解決に向けて、スポーツの多面的な有用性の向上と活用に取り組んでいきます。

## 基本理念

# Sports in Life UTSUNOMIYA

～スポーツを通して みんなが 輝き つながる 魅力的なまち～

スポーツが有する効果や価値を最大限高め、スポーツを生活の一部として感じられるまちづくりを実現するため、「Sports in Life UTSUNOMIYA ～スポーツを通して みんなが 輝き つながる 魅力的なまち～」を基本理念として定め、市民一人ひとりがスポーツに親しむことを通して、ウェルビーイングの向上を目指していく。

## 第6次宇都宮市総合計画基本構想 宇都宮市の将来像

輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪  
うつのみや

▼ スポーツからアプローチ

## 基本理念

### Sports in Life UTSUNOMIYA

～スポーツを通して みんなが 輝き つながる 魅力的なまち～

### 【基本理念の考え方】

- 総合計画で掲げる都市としての将来像に“スポーツ”からアプローチします。
- 「つながり」は国の第3期スポーツ基本計画でも新たな視点として掲げられています。
- 本市のスポーツ資源を活用し魅力的なまちの実現を目指します。
- アルファベット表記は、スポーツ大会等を通して、国際的にも本市の魅力を高めていくことを表しています。

# 1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保

現代社会を取り巻く状況は、ICT・IoT等の情報関連技術の革新が進むとともに、コロナ禍におけるテレワークの普及、さらには働き方改革の推進など目まぐるしい環境の変化により、生活様式も新たな時代へと大きく変化しています。

このような変化に対応していくため、地域や団体の参画・連携も図りながら、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、生涯に渡り、市民の誰もが「ひとり1スポーツ」に留まらず、多種多様なスポーツを楽しめるよう、スポーツに親しめる機会の創出やスポーツを支える人材の育成などを推進し、それぞれのライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会を確保します。

### 対応する課題

- A スポーツ実施に向けた更なる環境整備や機運醸成、特に実施の頻度が少ない層や非実施層へのアプローチに取り組む必要があります。
- B 引き続き、誰もがスポーツを楽しめる機会の提供として、より多くの市民が参加できるよう、社会情勢やライフスタイルに応じたスポーツ教室を開催する必要があります。
- E スポーツをしない理由として「時間がないこと」が最も高く、20～30歳代（特に女性）の実施率が低いことから、身近で気軽にできるスポーツ機会を提供していく必要があります。
- F 個別施策の「スポーツ指導者の育成・活用」については、市民の満足度が最も低かったことから、市民の多様化するスポーツ活動ニーズや部活動の地域移行等に対応する人材を確保するため、スポーツ指導者の更なる資質向上を図るとともに、新たな人材を確保していく必要があります。

## 2 市民のつながりの創出に向けたスポーツ活動環境の充実

東京オリンピック・パラリンピック競技大会やいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会、市内におけるプロスポーツの試合開催等により、スポーツへの興味・関心が高まっており、スポーツを通して、市民の誰もが、安全・快適に「あつまり、ともに、つながる」機会や場の創出が求められています。

このようなことから、子どもから高齢者まで、誰もが年間を通じて身近な場所でスポーツに親しめるよう、市民のスポーツニーズや国際的スポーツイベントの誘致を見据えたスポーツ施設整備など、更なるスポーツ活動環境の充実に取り組むことで、スポーツの持つ力が最大限に発揮され、市民一人ひとりがスポーツを通じて関わりあう共生社会の実現につなげます。

### 対応する課題

- C 身近で気軽にできるスポーツ機会を提供する総合型地域スポーツクラブの存在は重要であり、民間スポーツクラブの増加などもある中でも、総合型地域スポーツクラブの果たすべき役割を整理し、全市域の配置バランス等を念頭に置きながら、新規設立や既存クラブによるカバー地域追加を推進していく必要があります。
- D 夏季の猛暑などの社会環境の変化や施設の老朽化等に対応していくうえで、施設整備の優先順位や整備内容等を検討する必要があります。

### 3 スポーツを活用した地域活性化・魅力創造

コロナ禍による生活や社会の変化，人口減少，少子高齢化等，本市には様々な課題が顕在化していますが，今後の地方創生における各種施策の目標達成や課題に対し，スポーツを活用してアプローチする取組が求められています。

スポーツの多面的な有用性を確立することで，スポーツの新たな価値を高めるとともに，スポーツの持つ力と可能性を本市の課題解決や魅力創造，経済の活性化等に活用します。

#### 対応する課題

G 「スポーツを活用したまちづくり推進ビジョン」に基づき，スポーツの多面的な有用性の向上と活用に取り組むことから，産学官が連携しスポーツの他分野への活用等を検討するプラットフォームの設立や「東部スポーツウェルネスライン」における連携・取組を推進する必要があります。

本計画における基本理念の達成度合いを図る成果指標を以下のとおりに定め、計画の進捗について総合的に評価していきます。

施策の柱	成果指標	現状値(R5)	目標値(R16)
1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率	49.8% ▶	<u>75%</u>
	「休み時間や放課後、休日などに自分から進んで運動している」児童生徒の割合	70.2% ▶	<u>75%</u>
2 市民のつながりの創出に向けたスポーツ活動環境の充実	スポーツ施設利用満足度	95.8% ▶	<u>100%</u>
	年に1回以上会場でプロスポーツを観戦したことがある市民の割合	19.6% ▶	<u>50%</u>
	総合型地域スポーツクラブの全市域カバー率	28% ▶	<u>100%</u>
3 スポーツを活用した地域活性化・魅力創造	本市の魅力向上にスポーツが活用されていると感じている市民の割合	—※ ▶	<u>100%</u>

※ 【参考】 ・ スポーツ資源（ジャパンカップ，FIBA 3 × 3，プロスポーツチーム）に係る市民からの認知度 約67%（R1）

# 第4章

## スポーツ推進のための施策・事業



1. 施策体系
2. 基本施策

基本理念及び3つの施策の柱の達成を目指し、柱ごとに基本施策を示し、具体的な取組を進めていきます。

基本理念	施策の柱	基本施策	施策の方向性
Sports in Life UTSUNOMIYA 魅力的なまち	ライフステージ等に応じた スポーツへの参加機会の確保	1 子どものスポーツへの興味・関心の高揚	(1) 楽しくスポーツに親しむ機会づくり (2) 子どもの体力向上 (3) 学校部活動の段階的な地域移行
		2 成人のスポーツ参加の促進	(1) スポーツに親しみやすい機会づくり (2) 働き盛り・子育て世代へのスポーツ活動の促進
		3 高齢者のスポーツ活動の促進	(1) 生きがいとなるスポーツの機会づくり
		4 障がい者のスポーツ活動と普及・理解の促進	(1) 障がい者のスポーツ活動環境整備 (2) 障がい者スポーツに親しむ機会づくり
		5 スポーツ指導者の育成・活用	(1) 指導者の育成 (2) 指導者の発掘・活用 (3) 指導活動環境の向上
	市民のつながりの創出に向けた スポーツ活動環境の充実	6 スポーツ施設等の整備・充実	(1) スポーツ施設の計画的整備・改修の推進 (2) スポーツ施設等の利用促進
		7 トップレベルのスポーツを 見て・触れる機会の創出	(1) トップレベルスポーツイベント等の開催・誘致 (2) トップレベルスポーツ選手を知る機会の創出
		8 競技スポーツ活動機会・環境の充実	(1) 市民参加型スポーツ大会の開催 (2) スポーツ全国大会出場支援
		9 スポーツ活動団体の育成・支援	(1) スポーツ団体の活動支援 (2) 地域におけるスポーツ活動の機会づくり
	スポーツを活用した 地域活性化・魅力創造	10 スポーツを活用したひとづくり	(1) 健康づくりの推進 (2) エコアクションの推進 (3) シビックプライドの醸成
		11 スポーツを活用した魅力創造・交流機会の創出	(1) 都市ブランド力の向上 (2) スポーツツーリズムによる誘客促進
		12 スポーツを活用した産業・研究の活性化	(1) 企業の活動支援 (2) 産学官民の連携

## 施策の柱1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保

### 基本施策1 子どものスポーツへの興味・関心の高揚

子どもが楽しくスポーツに親しむことができるよう、スポーツ教室の開催など、様々なスポーツを経験できる機会の提供に取り組めます。

学校においては、体育の授業などにより、体力の向上を図るとともに、部活動の地域移行の方策を検討し、子ども達が、「楽しさ」や「喜び」を感じる活動を、様々な選択肢の中から選ぶことができるよう、スポーツ団体や学校を含めた地域全体で取り組めます。

#### 施策の方向性

**(1) 楽しくスポーツに親しむ機会づくり**

主な事業：子どもを対象としたスポーツ教室，スポーツ指導デリバリー事業 等

**(2) 子どもの体力向上**

主な事業：元気っ子健康体力チェック，うつのみや元気っ子チャレンジ 等

**(3) 学校部活動の段階的な地域移行**

主な事業：部活動指導員派遣事業，地域クラブ育成事業（部活動地域移行）の実施 等



## 施策の柱1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保

### 基本施策2 成人のスポーツ参加の促進

市民がライフスタイルや目的に合ったスポーツに親しめるよう、参加機会の提供を図ります。特に、スポーツ実施頻度の少ない年代層に対して、夜間・休日におけるスポーツ教室の拡充など、スポーツ活動への参加を促す仕組みの構築に取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) スポーツに親しみやすい機会づくり

主な事業：成人を対象としたスポーツ教室，ニュースポーツの普及促進 等

##### (2) 働き盛り・子育て世代へのスポーツ活動の促進

主な事業：成人に向けたスポーツに関する情報の発信，運動推進事業 等



## 施策の柱 1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保

### 基本施策 3 高齢者のスポーツ活動の促進

高齢者が健やかにスポーツライフを楽しむことができるよう、スポーツに参加できる機会の提供に取り組みます。また、スポーツを通じた社会参加・活躍の推進や、高齢者の生きがいづくりを目指し、高齢者でも行えるスポーツの普及促進などに取り組みます。



#### 施策の方向性

##### (1) 生きがいとなるスポーツの機会づくり

主な事業：高齢者を対象としたスポーツ教室，介護予防普及啓発事業 等

### 基本施策 4 障がい者のスポーツ活動と普及・理解の促進

障がいのある方が気軽にスポーツに参加できるよう、スポーツ施設におけるバリアフリー化等の環境整備に取り組みます。

また、市民に対して、障がい者スポーツの普及・理解促進を図るため、障がい者スポーツを体験できる機会の提供に取り組みます。



#### 施策の方向性

##### (1) 障がい者のスポーツ活動環境整備

主な事業：スポーツ施設のバリアフリー化

##### (2) 障がい者スポーツに親しむ機会づくり

主な事業：ふれあいスポーツ大会の実施，障がい者スポーツ体験会の実施 等

## 施策の柱1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保

### 基本施策5 スポーツ指導者の育成・活用

多様化する市民ニーズに対応できる指導者の育成に努めるとともに、指導意向のある潜在的な指導者の発掘や選手のセカンドキャリアとしての指導者への活用など、新たな指導者の発掘・活用に取り組みます。

また、指導者がスポーツの指導を継続して行うことができるよう、スポーツ指導環境の向上に取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) 指導者の育成

主な事業：スポーツ推進委員の育成，少年スポーツ指導員の育成

##### (2) 指導者の発掘・活用

主な事業：宇都宮市版人材バンクの設置 等

##### (3) 指導活動環境の向上

主な事業：少年スポーツ指導協力事業所認定制度

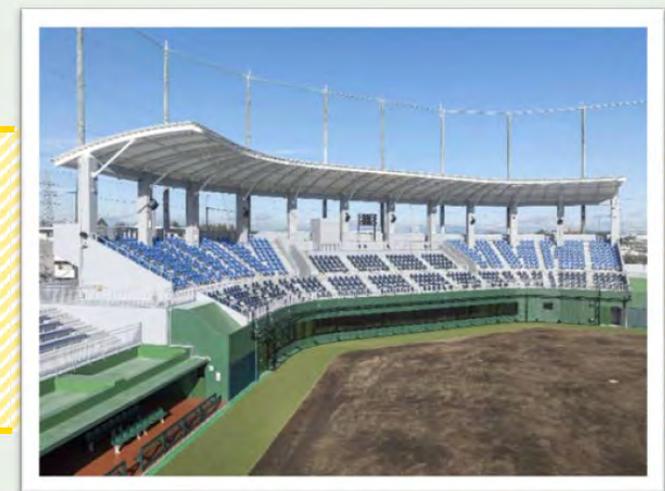


## 施策の柱2 市民のつながりの創出に向けたスポーツ活動環境の充実

### 基本施策6 スポーツ施設等の整備・充実

市民がスポーツに親しみやすく、活動しやすい環境を整えるため、「スポーツ施設整備計画」において、スポーツ環境の変化や市民ニーズを捉えた施設のあり方を検討し、効果的・効率的な整備・改修を進めていくとともに、今後整備を予定しているスポーツ施設等において、市民がスポーツを通して集まる場の創出に取り組みます。

また、より多くの方がスポーツ施設を利用し、人々の交流が生まれるよう、既存施設の更なる利用促進に取り組みます。



#### 施策の方向性

##### (1) スポーツ施設の計画的整備・改修の推進

主な事業：計画的・効果的なスポーツ施設整備の推進 等

##### (2) スポーツ施設等の利用促進

主な事業：学校体育施設夜間開放事業、冒険活動事業 等

## 施策の柱2 市民のつながりの創出に向けたスポーツ活動環境の充実

### 基本施策7 トップレベルのスポーツを見て・触れる機会の創出

見る人に大きな感動や憧れを与え、市民のスポーツ活動の動機付けにもつながるよう、国際的スポーツイベントやプロスポーツの誘致・開催に取り組みます。

また、スポーツの楽しさを知るきっかけの1つとして、本市出身など、本市にゆかりのあるプロスポーツ選手などを知る機会の創出に取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) トップレベルスポーツイベント等の開催・誘致

主な事業：F I B A 3 x 3ワールドツアーの開催  
 ジャパンカップサイクルロードレースの開催 等

##### (2) トップレベルスポーツ選手を知る機会の創出

主な事業：本市にゆかりのあるスポーツ選手の顕彰



## 施策の柱2 市民のつながりの創出に向けたスポーツ活動環境の充実

### 基本施策8 競技スポーツ活動機会・環境の充実

市民のスポーツ活動への励みや目標につながるよう、スポーツ活動の成果を競ったり、表現したりする場の提供に取り組みます。また、全国大会などのハイレベルな大会への参加を促進するため、市スポーツ協会や競技団体、県と連携しながら選手・団体等の支援に取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) 市民参加型スポーツ大会の開催

主な事業：宇都宮マラソン大会の開催，市民スポーツ大会の開催 等

##### (2) スポーツ全国大会出場支援

主な事業：スポーツ全国大会出場補助金



### 基本施策9 スポーツ活動団体の育成・支援

スポーツを通じた人と人との交流や地域内の交流を促進することにより、生活に活力をもたらし、地域活性化が図られるよう、総合型地域スポーツクラブやスポーツ振興財団，市スポーツ協会などへの運営補助等の支援を行い，身近な地域でのスポーツ活動機会の創出に取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) スポーツ団体の活動支援

主な事業：プロスポーツチームの支援，スポーツ振興財団運営補助，スポーツ協会の育成 等

##### (2) 地域におけるスポーツ活動の機会づくり

主な事業：総合型地域スポーツクラブ育成・活動支援事業 等



## 施策の柱3 スポーツを活用した地域活性化・魅力創造

### 基本施策10 スポーツを活用したひとづくり

スポーツを活用した健康づくりや本市をホームタウンとするプロスポーツチームとの連携による環境配慮行動，市民のシビックプライドの醸成に取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) 健康づくりの推進

主な事業：うつのみや健康ポイント事業

##### (2) エコアクションの推進

主な事業：みやエコ・アクション・ポイント事業の実施  
プロスポーツチームによるもったいない運動の推進

##### (3) シビックプライドの醸成

主な事業：プロスポーツチームとの連携による地域活性化



### 基本施策11 スポーツを活用した魅力創造・交流機会の創出

本市がこれまで培ってきたジャパンカップサイクルロードレース等をスポーツの貴重な地域資源として捉え，国内外の大規模スポーツイベントの更なる開催誘致などにより，都市ブランド力の向上や，スポーツツーリズムの推進などに取り組みます。

#### 施策の方向性

##### (1) 都市ブランド力の向上

主な事業：新たなスポーツ資源（アーバンスポーツ）の発掘・創出 等

##### (2) スポーツツーリズムによる誘客促進

主な事業：スポーツツーリズム推進事業，アウェイツーリズム（観光情報発信） 等



## 施策の柱3 スポーツを活用した地域活性化・魅力創造

### 基本施策12 スポーツを活用した産業・研究の活性化

民間事業者等によるスポーツビジネスやリアルとデジタルの融合など、新たなスポーツ事業の創出・拡大に向けた活動支援や、企業やプロスポーツをはじめとする各種スポーツ団体、大学、行政、市民等が一体となり、ウェルビーイングの向上に向けた取組を創出する産学官民連携プラットフォームの運営に取り組みます。

#### 施策の方向性

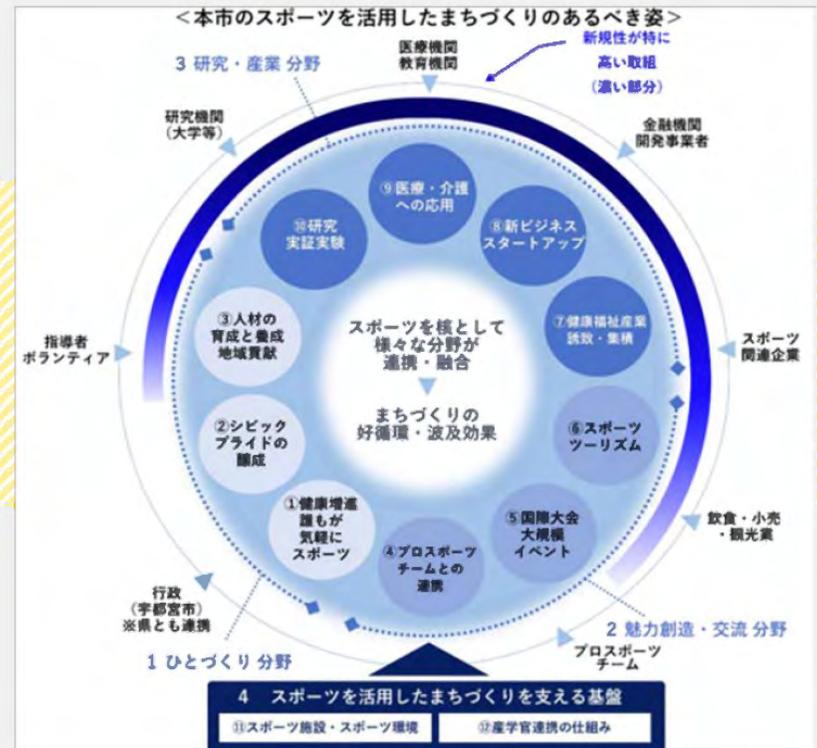
##### (1) 企業の活動支援

主な事業：スポーツ、健康・福祉分野におけるスタートアップの成長支援 等

##### (2) 産学官民の連携

主な事業：「(仮称) みやSOI P※」の運営・事業創出

※ スポーツオープンイノベーションプラットフォームの略  
 企業、大学等と連携したスポーツを活用した事業創出等を行う組織体



# 第5章 計画の推進



1. 計画の推進体制
2. 計画の実現に向けて

計画の推進にあたり、地域・学校・企業・行政など様々な関係主体が相互に連携し、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境の実現を目指す必要があることから、それぞれが以下のような役割を担います。

各主体	役割
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性等に応じた健康づくりやスポーツ活動を充実することにより、地域住民の体力の維持増進、多世代の交流に取り組む。</li> <li>各地区のスポーツ推進委員や体育・スポーツ協会をはじめとする人々と連携しながら、地域住民のスポーツ意欲を高めることで、スポーツ活動環境創出への参画につなげていく。</li> </ul>
学校等 (保育園, 幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校, その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業や部活動を通して、児童生徒の体力向上やスポーツを通じた仲間作りの素晴らしさなどを子どもたちが享受できるよう取り組む。</li> <li>体育館や校庭の地域への開放など、地域が行うスポーツ活動へ協力する。</li> <li>中学校においては、部活動の地域移行の方策を検討し、子ども達が、「楽しさ」や「喜び」を感じる活動を様々な選択肢の中から選ぶことができるよう、スポーツ団体や地域と連携して取り組む。</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>サークル活動など企業内スポーツの推進や、スポーツ大会等のイベントの開催に努めるとともに、各従業員が地域の構成員として地域のスポーツ活動に積極的に参加したり、指導したりできる環境作りに取り組む。</li> <li>自社のグラウンド等の施設を地域に開放することに取り組むとともに、スポーツイベントの開催に向けた協力・支援に取り組む。</li> <li>スポーツの多面的価値を活用した経済・産業活動に取り組み、「スポーツのまちうつのみや」の実現に寄与する。</li> </ul>
スポーツ関係団体 (スポーツ振興財団, スポーツ協会, 競技団体, 地区体育・スポーツ協会 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各スポーツ団体・関係機関と連携を図りながら、地域のスポーツ指導者の育成や競技力の向上を目指し、スポーツ大会やイベントの実施、指導者の育成・派遣に取り組む。</li> <li>スポーツを通して様々な市民が集まり、共に活動する場の提供に取り組み、多世代の交流による共生社会の実現に寄与する。</li> </ul>
本市をホームタウンとするプロスポーツチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>試合を開催することにより、市民のシビックプライドの醸成や多世代の交流に取り組む。</li> <li>「小中学校への訪問」や「各種教室」などの実施を通じ、スポーツの振興や青少年の健全育成などに取り組む。</li> </ul>
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズを的確に把握・分析し、スポーツ推進に関する方針や施策を立案するとともに、スポーツ大会の開催や、民間には困難な大規模施設の整備に取り組む。</li> <li>関係機関と連携しながら、スポーツを活用したまちづくりに取り組む。</li> </ul>



- 本計画の着実な推進に向けては、上位・関連計画と有機的に連動しながら取り組みます。
- 成果指標等を定期的・継続的に測定し、スポーツ推進審議会にて進捗評価等を行います。
- 取組の実施状況の確認を踏まえ、PDCAサイクルに則り、必要に応じて中間見直し等を行います。

# 資料編



1.	施策の柱ごとの個別事業一覧	70
2.	計画の策定体制	73
3.	スポーツ推進審議会名簿	74

## 施策の柱1 ライフステージ等に応じたスポーツへの参加機会の確保

### 基本施策1 子どものスポーツへの興味・関心の高揚

施策の方向性 (1) 楽しくスポーツに親しむ機会づくり (2) 子どもの体力向上 (3) 学校部活動の段階的な地域移行

番号	個別事業	所管課	施策の方向性
1	子どもを対象としたスポーツ教室	スポーツ都市推進課	(1)
2	スポーツ指導デリバリー事業	スポーツ都市推進課	(1)
3	ニュースポーツの普及促進	スポーツ都市推進課	(1)
4	子どもに向けたスポーツに関する情報の発信	スポーツ都市推進課	(1)
5	元気っ子健康体力チェック	学校健康課	(2)
6	うつのみや元気っ子チャレンジ	学校健康課	(2)
7	部活動指導員派遣事業	学校健康課	(3)
8	地域クラブ育成事業（部活動地域移行）の実施	学校健康課	(3)

### 基本施策2 成人のスポーツ参加の促進

施策の方向性 (1) スポーツに親しみやすい機会づくり (2) 働き盛り・子育て世代へのスポーツ活動の促進

9	成人を対象としたスポーツ教室	スポーツ都市推進課	(1), (2)
再掲	スポーツ指導デリバリー事業	スポーツ都市推進課	(1), (2)
再掲	ニュースポーツの普及促進	スポーツ都市推進課	(1), (2)
10	成人に向けたスポーツに関する情報の発信	スポーツ都市推進課	(1), (2)
11	運動推進事業	健康増進課	(2)

### 基本施策3 高齢者のスポーツ活動の促進

施策の方向性 (1) 生きがいとなるスポーツの機会づくり

12	高齢者を対象としたスポーツ教室	スポーツ都市推進課	(1)
再掲	スポーツ指導デリバリー事業	スポーツ都市推進課	(1)
再掲	ニュースポーツの普及促進	スポーツ都市推進課	(1)
13	高齢者に向けたスポーツに関する情報の発信	スポーツ都市推進課	(1)
14	介護予防普及啓発事業	高齢福祉課	(1)
15	健康づくりを支援する取組	生涯学習課	(1)

### 基本施策4 障がい者のスポーツ活動と普及・理解促進

施策の方向性 (1) 障がい者のスポーツ活動環境整備 (2) 障がい者スポーツに親しむ機会づくり

16	スポーツ施設のバリアフリー化	スポーツ都市推進課	(1)
17	ふれあいスポーツ大会の実施	障がい福祉課	(2)
18	文化・スポーツ講座事業の充実	障がい福祉課	(2)
19	障がい者スポーツ体験会の実施	障がい福祉課	(2)

### 基本施策5 スポーツ指導者の育成・活用

施策の方向性 (1) 指導者の育成 (2) 指導者の発掘・活用 (3) 指導活動環境の向上

20	スポーツ推進委員の育成	スポーツ都市推進課	(1), (2)
21	少年スポーツ指導員の育成	スポーツ都市推進課	(1), (2)
再掲	部活動指導員派遣事業	学校健康課	(2)
22	宇都宮市版人材バンクの設置	学校健康課	(2)
23	少年スポーツ指導協力事業所認定制度	スポーツ都市推進課	(3)

## 施策の柱2 市民のつながりの創出に向けたスポーツ活動環境の充実

### 基本施策6 スポーツ施設等の整備・充実

#### 施策の方向性 (1) スポーツ施設の計画的整備・改修の推進 (2) スポーツ施設等の利用促進

番号	個別事業	所管課	施策の方向性
24	計画的・効果的なスポーツ施設整備の推進	スポーツ都市推進課	(1)
25	スポーツ広場整備補助金	スポーツ都市推進課	(1)
26	道路空間におけるサイクルスポーツ環境の整備・保全	道路建設課	(1)
27	市有施設の脱炭素化	環境創造課	(1)
28	学校体育施設夜間開放事業	学校管理課	(2)
29	冒険活動事業	学校教育課	(2)

### 基本施策7 トップレベルのスポーツを見て・触れる機会の創出

#### 施策の方向性 (1) トップレベルスポーツイベント等の開催・誘致 (2) トップレベルスポーツ選手を知る機会の創出

30	FIBA 3x3 ワールドツアーの開催	スポーツ戦略室	(1)
31	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	スポーツ戦略室	(1)
32	プロスポーツ公式戦の開催誘致	スポーツ都市推進課	(1)
33	本市にゆかりのあるスポーツ選手の顕彰	スポーツ都市推進課	(2)

### 基本施策8 競技スポーツ活動機会・環境の充実

#### 施策の方向性 (1) 市民参加型スポーツ大会の開催 (2) スポーツ全国大会出場支援

34	宇都宮マラソン大会の開催	スポーツ都市推進課	(1)
35	市民スポーツ大会の開催	スポーツ都市推進課	(1)
36	スポーツ全国大会出場補助金	スポーツ都市推進課 高齢福祉課	(2)

### 基本施策9 スポーツ活動団体の育成・支援

#### 施策の方向性 (1) スポーツ団体の活動支援 (2) 地域におけるスポーツ活動の機会づくり

37	プロスポーツチームの支援	スポーツ都市推進課	(1)
38	スポーツ振興財団運営補助	スポーツ都市推進課	(1), (2)
39	スポーツ協会の育成	スポーツ都市推進課	(1), (2)
40	総合型地域スポーツクラブ育成・活動支援事業	スポーツ都市推進課	(1), (2)

### 施策の柱3 スポーツを活用した地域活性化・魅力創造

#### 基本施策10 スポーツを活用したひとづくり

施策の方向性 (1) 健康づくりの推進 (2) エコアクションの推進 (3) シビックプライドの醸成

番号	個別事業	所管課	施策の方向性
4 1	うつのみや健康ポイント事業	健康増進課	(1)
4 2	みやエコ・アクション・ポイント事業の実施	環境創造課	(2)
4 3	プロスポーツチームによるもったいない運動の推進	環境創造課	(2)
4 4	プロスポーツチームとの連携による地域活性化	スポーツ戦略室	(3)

#### 基本施策11 スポーツを活用した魅力創造・交流機会の創出

施策の方向性 (1) 都市ブランド力の向上 (2) スポーツツーリズムによる誘客促進

再掲	F I B A 3 x 3 ワールドツアーの開催	スポーツ戦略室	(1)
再掲	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	スポーツ戦略室	(1)
4 5	新たなスポーツ資源（アーバンスポーツ）の発掘・創出	スポーツ戦略室	(1)
4 6	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ戦略室	(2)
4 7	森林公園の体験型アクティビティを通じた交流機会の創出	観光MICE推進課	(2)
4 8	スポーツ観戦をきっかけとした周遊促進	観光MICE推進課	(2)

#### 基本施策12 スポーツを活用した産業・研究の活性化

施策の方向性 (1) 企業の活動支援 (2) 産学官民の連携

再掲	少年スポーツ指導協力事業所認定制度	スポーツ都市推進課	(1)
4 9	スポーツ、健康・福祉分野におけるスタートアップの成長支援	産業政策課	(1)
5 0	「（仮称）みやSOIP」の運営・事業創出	スポーツ都市推進課	(2)

## 庁内組織

庁議（審議・報告）

関係部長・関係次長会議  
（必要に応じて開催）

### （仮称）第2次宇都宮市スポーツ推進計画策定委員会

#### 【構成】

- 委員長：魅力創造部次長  
副委員長：スポーツ都市推進課長  
委員：財政課長，政策審議室長，みんなでまちづくり課長，  
高齢福祉課長，障がい福祉課長，健康増進課長，  
子ども政策課長，環境創造課長，産業政策課長，  
観光MICE推進課長，道路建設課長，公園管理課長，  
教育企画課長，学校管理課長，学校教育課長，学校健康課長，  
生涯学習課長  
※ 議題内容に応じ参加者を定め，効率的に運営する。

## 作業部会

#### 【構成】

- 部会長：スポーツ都市推進課長補佐  
委員（策定委員会所属係長等）  
※ 議題内容に応じ参加者を定め，効率的に運営する。

## 庁外組織

宇都宮市スポーツ推進審議会  
（※スポーツ基本法第31条に  
基づく合議制の機関）

- 1 役割 調査審議
- 2 委員構成 15名
  - ・学識経験者 3名
  - ・競技・地域活動関係団体 5名
  - ・関係行政機関（栃木県） 1名
  - ・行政機関に準ずる機関 3名
  - ・公募委員 3名

諮問

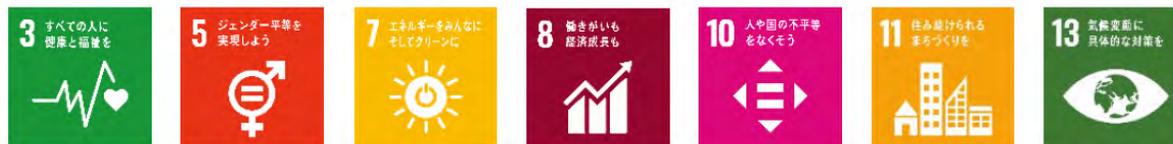
答申

## 市民意見

- ・スポーツに関する市民アンケート調査（R5年度実施済）
- ・パブリックコメント

意見の  
反映

区分	氏名	備考
学識経験者	石塚 諭	宇都宮大学 准教授
	福田 将史	作新学院大学 名誉教授
	藤村 透子	作新学院大学女子短期大学 准教授
競技・地域団体等	宮本 典子	宇都宮市なぎなた連盟 理事長
	小野 武伸	宇都宮市ダンススポーツ連盟 理事長
	津田 るみ子	株式会社宇都宮コミュニティメディア 超コミュニティ創造室 コミュニティリーダー
	宮本 榮子	スポーツかわち「ship」 事務局長
関係機関・団体	大豆生田 将	宇都宮市スポーツ協会 会長
	森下 薫	宇河地区中学校体育連盟 会長
	福田 治久	宇都宮市PTA連合会 会長
	田代 哲郎	栃木県スポーツ協会 参事兼武道館館長
	手塚 不二雄	宇都宮市スポーツ推進委員会 会長
公募委員	戸井田 公子	
	中村 泉	
	中村 英一郎	



## 第2次宇都宮市スポーツ推進計画 令和7年2月

編集 宇都宮市魅力創造部スポーツ都市推進課